SONY®

パーソナルコンピューター

G シリーズ

取扱説明書

VGN-G3

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

画面で見るマニュアル

VAIO 電子マニュアル

VAIO使用上、必要な情報をすべて記載しています。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックする。

重要なお知らせ

SONY VAIO

リカバリディスクを作成しましょう

（スタート）ボタン －［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリツール］－［VAIO リカバリユーティリティ］をクリックし、「VAIO リカバリユーティリティ」でリカバリディスクを作成することができます。
詳しくは、取扱説明書の「リカバリディスクを作成する」をご覧ください。

以下の操作を行った場合などは、リカバリディスクが必要となります。
- パーティションを操作するソフトウェアをインストールしたり、使用した場合。
- 出荷時以外のOSをインストールした場合。
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットした場合。

リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要になる場合がありますので、事前にリカバリディスクの作成をおすすめします。

リカバリディスクのご購入（有償）については、
VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html をご覧ください。
（VAIOカスタマー登録が必要です）

© 2007 Sony Corporation

VAIOを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

G シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機をセットアップする
インターネット／メール
パスワード／TPM／指紋認証
増設／バックアップ／リカバリー
困ったときは／サービス・サポート
各部名称／注意事項

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご確認ください。

このマニュアルでは、Windows 7 64ビット版での操作を説明しています。32ビット版がインストールされている場合、実際にお使いの操作とマニュアルの記載とが異なる場合があります。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows 7の画面テーマには、「Aero」や「ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows 7 Home Premium搭載モデル、Windows 7 Professional搭載モデル、およびWindows 7 Ultimate搭載モデルにインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
- **SSD**
  Solid State Drive(内蔵フラッシュメモリー)のことをさします。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリック!

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに
詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリック！

インターネット／メール

パスワード／ TPM ／指紋認証

増設／バックアップ／リカバリー

困ったときは／サービス・サポート

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに
詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリック！

各部名称／注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリー未搭載でAC アダプターを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

電波法に基づく認証について（無線モジュール内蔵モデルのみ）

本機内蔵の無線モジュールは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵の無線モジュールを分解／改造すること
- 本機内蔵の無線モジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと

レーザー安全基準について（ディスクドライブ搭載モデルのみ）

本製品には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802：2005）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

注意

- 本製品の修理・点検が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
- ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

搭載されている光ディスクドライブについて（ディスクドライブ搭載モデルのみ）

注意

ここを開くとクラス3B の可視及び不可視レーザー放射がでます。
ビームの目または皮膚への被ばくは危険です。
見たり触れたりしないでください。

最大出力：390μW (λ650nm), 563μW (λ780nm), 39μW (λ405nm)
ビームの発散：0.6 (λ650nm), 0.45 (λ780nm), 0.85 (λ405nm)
パルス幅：連続波

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)について(FeliCa機能搭載モデルのみ)

本機内蔵のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。使用周波数は、13.56 MHz帯です。本機内蔵のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
周囲で複数のリーダー/ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

AC電源の遮断について

不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、ACアダプターは、コンセントの近くでお使い下さい。

バッテリーについて

間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。
使用済の電池は、取扱説明書に従って処分してください。

持ち運び時の注意について

本機持ち運び時における故障や発火の危険を防ぐため、持ち運び時には付属の端子カバーやスロットプロテクターなどを適切な場所に取り付け、またバッテリーも取り付けてください。

無線の周波数について(無線モジュール内蔵モデルのみ)

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピューターの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピューターの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル
受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」の「使用済みコンピューターの回収について」をご覧ください。

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

この説明書は、本文に古紙70%以上の再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクまたはSSDなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

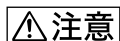
警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

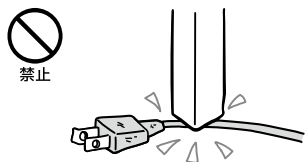
注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずしてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリーモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「増設する」（72ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、LANケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。なお、ACアダプターと電源コードは対応する入力電圧が異なる場合があります。ACアダプター・電源コードの記載をご確認ください。
  本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
  海外で使うと罰せられることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LAN端子に指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

本機のLAN端子に次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、端子に必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

ウォールマウントプラグアダプターは、ACアダプターとコンセントにしっかり差し込む(ウォールマウントプラグアダプター付属モデル)

- ウォールマウントプラグアダプターがACアダプターとコンセントの両方にしっかり差し込まれていないと、発熱による火災や感電の原因となることがあります。
- ウォールマウントプラグアダプターは、AC100V用です。

ウォールマウントプラグアダプターを他のACアダプターに使用しない(ウォールマウントプラグアダプター付属モデル)

ウォールマウントプラグアダプターは本機専用です。
本機以外では使用しないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHzワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

禁止

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

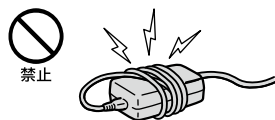
注意

ACアダプターや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

注意

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

禁止

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

端子はきちんと接続する

注意

- 接続端子の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート(短絡)して、火災の原因となることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- 端子に固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

禁止

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

禁止

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

禁止

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。

幼児の手の届かないところに置く

指示

"メモリースティック"などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけが、故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリーをご使用ください。
- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリーを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 以下のバッテリーを使用した場合、本機、バッテリーまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリー以外のバッテリーを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリーを使用した。
- 性能が低下したバッテリーを使わない。
  バッテリー駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプター、バッテリーが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

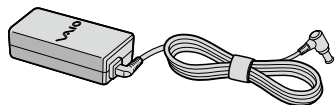
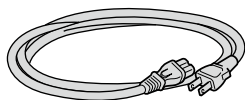
準備1

付属品を確かめる

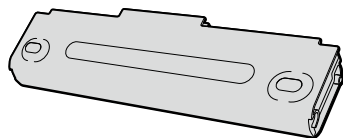
付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❏ ACアダプター

❏ 電源コード

!ご注意

付属の電源コードは、AC100V用です。

❏ バッテリー

説明書・その他

❑ **取扱説明書（本書）**

❑ **主な仕様**

❑ **保証書**
修理の際に必要になります。

❑ **VAIOカルテ**
修理の際に必要になります。

❑ **Microsoft® Office Personal 2007* プレインストールパッケージ**
（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ **Microsoft® Office PowerPoint® 2007* プレインストールパッケージ**
（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ **Microsoft® Office Professional 2007* プレインストールパッケージ**
（「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属）

* この説明書では以降、Office Personal 2007、Office PowerPoint 2007、Office Professional 2007と略します。

❑ **その他・パンフレット類**
大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

ヒント
本機はハードディスクまたはSSDからリカバリーすることができるため、リカバリーディスクは付属しておりません。
詳しくは「リカバリーする」（79ページ）をご覧ください。

Microsoft Officeのお問い合わせ先

❑ Microsoft Office Professional 2007

❑ Microsoft Office Personal 2007 with Microsoft Office PowerPoint 2007

❑ Microsoft Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：東京（03）5354-4500 ／
大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

準備2

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

！ご注意

- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。吸気口からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- 吸気口や排気口には物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- 風通しが悪い場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く

準備3

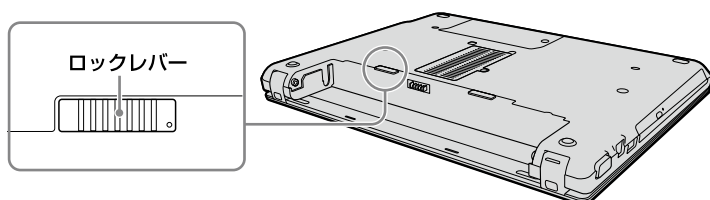
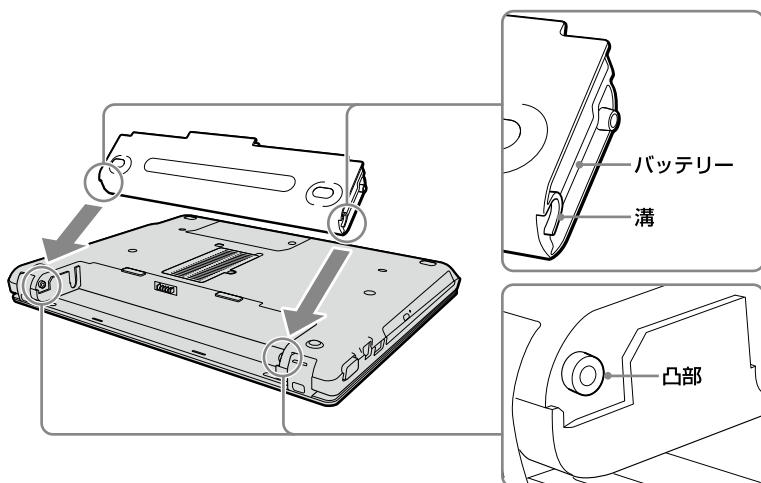
接続する

バッテリーを取り付ける

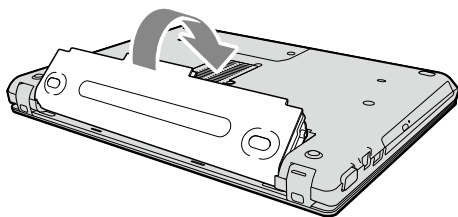
停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリーを取り付けます。
あらかじめ「バッテリーについてのご注意」（141ページ）をご覧ください。

バッテリーは、以下の手順で本体底面のバッテリー取り付け部に取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 本体底面のロックレバーが外側（LOCKと反対側）にあることを確認する。

3 本体底面のバッテリー取り付け部両端の凸部とバッテリー両端の溝をあわせる。

!ご注意

バッテリーを取り付ける際には、液晶ディスプレイにバッテリーをぶつけないようにご注意ください。

4 バッテリーを矢印の方向に回転させながら倒す。

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 ロックレバーを内側(LOCK側)にずらして、バッテリーを固定する。

ご注意

必ず本体底面のロックレバーをLOCKにした状態で本機をお使いください。

ロックが不充分なままお使いになると、バッテリーが外れたり、突然本機がシャットダウンされるなど不具合の原因となります。

インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは、「インターネットを始める」（44ページ）をご覧ください。

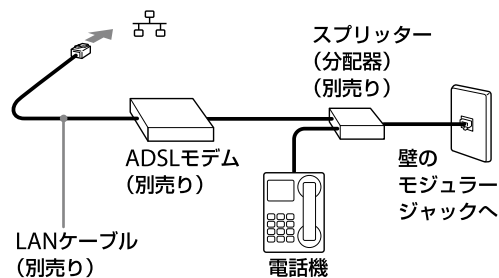
！ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ヒント

無線LANでインターネットに接続する場合は、「Windowsを準備する」（32ページ）の手順に従ってWindowsのセットアップを行った後に、無線LANの設定を行ってください。
詳しくは、「無線LANで通信する」（46ページ）をご覧ください。（無線LAN機能搭載モデル）

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

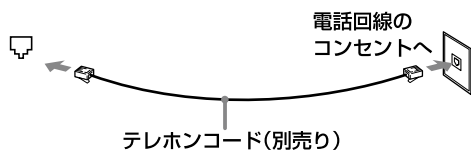
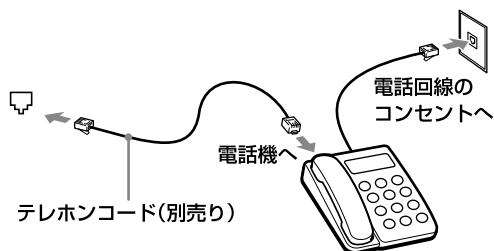
ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、本機のLAN端子（135ページ）に接続します。

* ADSLの接続例

！ご注意

LAN端子に接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

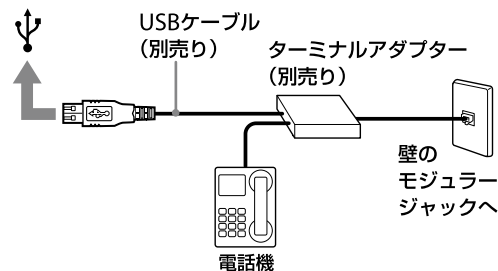
一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。

本機の（モジュラージャック）（134ページ）にモジュラープラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラージャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

！ご注意

- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本機のLAN端子にテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の（モジュラージャック）にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

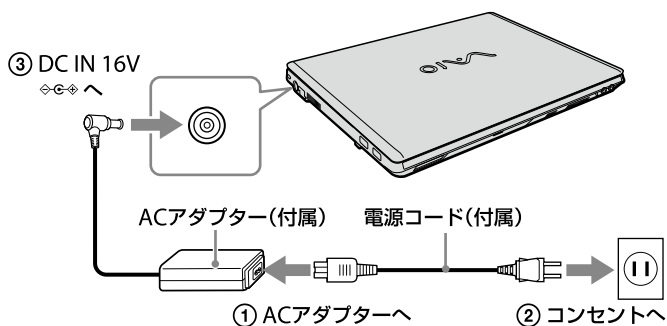
ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機の（USB）端子（135ページ）に接続します。

！ご注意

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

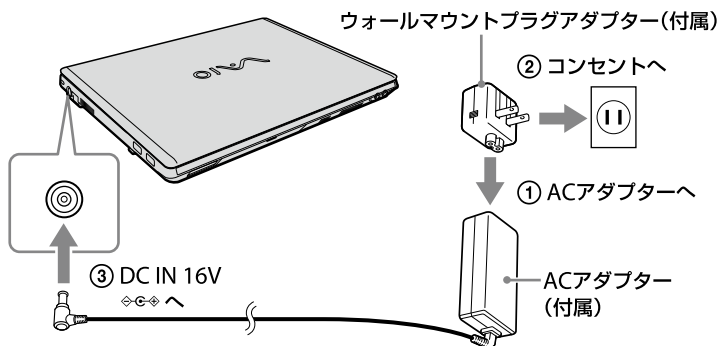
電源コードを接続する

本機と壁のACコンセントを接続します。

電源コードを使用する場合

1 電源コードのプラグをACアダプターに差し込む。

2 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

3 ACアダプターのプラグを、本体左側面のDC IN 16V 端子に差し込む。

ウォールマウントプラグアダプターを使用する場合(ウォールマウントプラグアダプター付属モデル)

1 ウォールマウントプラグアダプターをACアダプターに差し込む。

2 ウォールマウントプラグアダプターのプラグを壁のコンセントに差し込む。

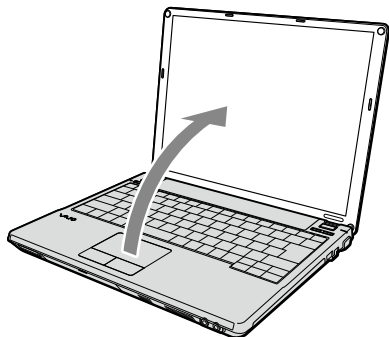
3 ACアダプターのプラグを、本体左側面のDC IN 16V ⊖-Ⓒ-⊕ 端子に差し込む。

!ご注意

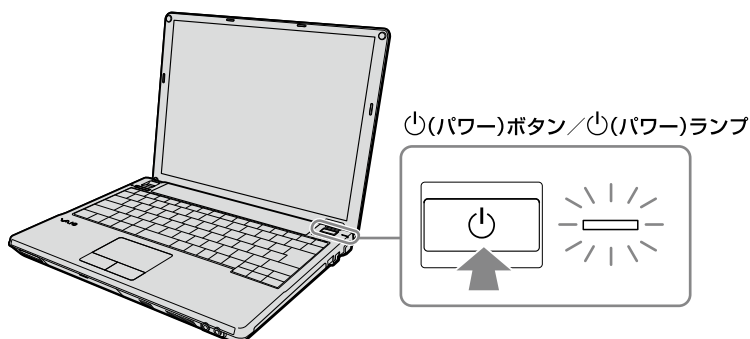
- ウォールマウントプラグアダプターは、ACアダプターとコンセントにしっかり差し込んでください。
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプターは本機専用です。本機以外では使用しないでください。

準備4

電源を入れる

1 ディスプレイパネルを開く。

!ご注意

ディスプレイパネルを開いた状態で本機を持ち歩く場合は、ディスプレイパネルが動きやすくなっていますのでご注意ください。

2 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら指を離す。

本機の電源が入り、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（32ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

!ご注意

- 4秒以上⏻(パワー)ボタンを押したままにすると、電源が入りません。
- 本機の液晶ディスプレイの上面には磁気を帯びた部品が使用されているため、フロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本体前面の右角付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スリープモード(お買い上げ時の設定)に移行します。本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

省電力動作モードについて

本機はお買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スリープ*1)。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタンを一瞬押してください。

*1 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「スリープモード／休止状態にする」をご覧ください。

*2 ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリーを上手に使うには

本機をバッテリーで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリーを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリーを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープや休止状態にすることで、バッテリーを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「スリープモード／休止状態にする」をご覧ください。

準備5

Windowsを準備する

**電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。**

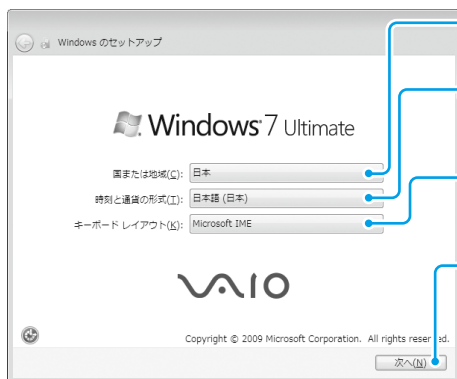
タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインターを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

ヒント

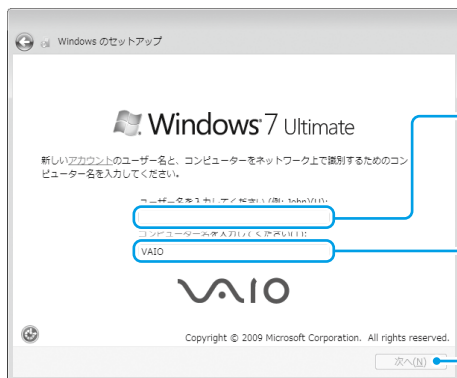
- Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。
- 取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

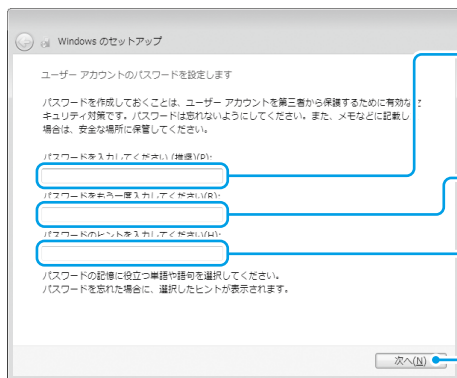
1 電源を入れる。

⏻（パワー）ボタンを押し（30ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

！ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

ヒント
- ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。
- 英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。

3 ユーザー名とコンピューター名を設定する。

ヒント

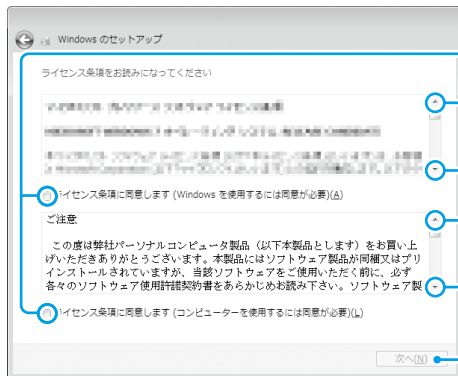
ユーザー名やコンピューター名はWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。

4 パスワードを設定する。

!ご注意

- 入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。入力したパスワードを忘れてしまった場合、リカバリーが必要になります。
- パスワードを入力したときは、パスワードのヒントを入力しないと[次へ]をクリックすることができません。

メモ

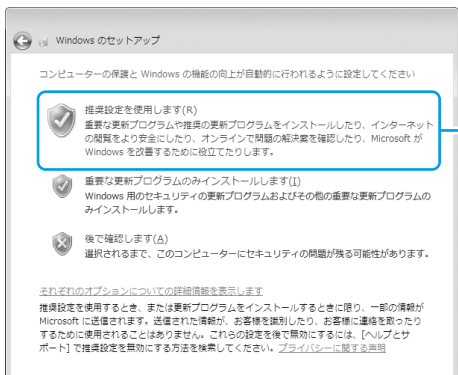
ヒント
パスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「Windowsパスワードを設定する」（52ページ）をご覧ください。

5 「ライセンス条項」の内容を確認する。

① 2か所の[ライセンス条項に同意します]の をクリックして にする。
どちらか一方でも を にしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

ヒント
画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

6 コンピューターの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します]をクリックする。

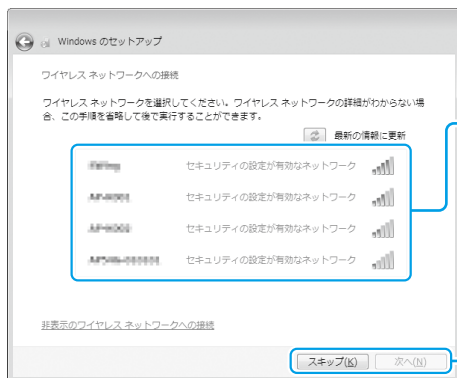
日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。

② ［次へ］をクリックする。

無線LANアクセスポイントの準備ができている場合は、ワイヤレスネットワークに接続する。

無線LANアクセスポイントが準備できていない場合は、ここでの接続をスキップすることができます。ワイヤレスネットワークの接続は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。（46ページ）

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

① 接続する無線LANアクセスポイントを選択する。
必要に応じてセキュリティ キーを入力してください。アルファベットの大文字と小文字は区別されます。

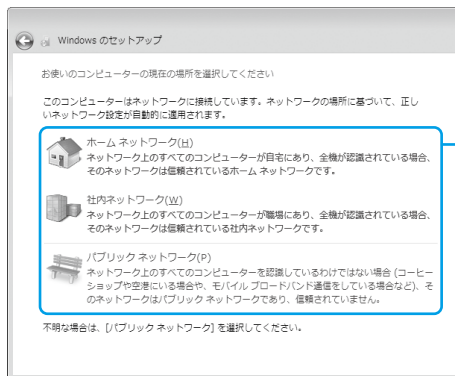
② ［次へ］をクリックする。
あとで接続する場合は［スキップ］をクリックしてください。

ヒント

「この接続を自動的に開始します」にチェックをすると、次回から、選択した無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続します。

コンピューターを使用する場所を選択する。

設定が完了するまでしばらくお待ちください。設定が完了すると、自動的にデスクトップ画面が表示されます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピューターを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

10

「VAIO をはじめる前の準備」を行う。

画面の指示に従って設定などを行ってください。

ヒント

- 「VAIO をはじめる前の準備」は、完了すると次回からは表示されなくなり、デスクトップ画面上のアイコンも削除されます。
- [VAIO お引越しサポートを起動する]をクリックすると、今までお使いのVAIOからデータや設定などを転送できます。

リカバリーディスクについて

セットアップが完了すると、リカバリーディスク作成を促すバルーンが表示されます。
リカバリーディスクの作成について詳しくは、「リカバリーディスクを作成する」（76ページ）をご覧ください。

パスワードについて

本機にパスワードなどのセキュリティーのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリック！

準備6

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「VAIO」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行（「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加）され、より充実したご登録者限定のサービス・サポートをご利用いただけます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供

② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供

＊ 各サービス・サポートについて詳しくは、109ページ以降をご覧ください。

- **使い方相談サポート（電話・メール）のご利用1年間無料**
  VAIOご購入日から1年間、使いかたや技術的なお問い合わせのサポート（電話・メール）を無料でご利用いただけます。
- **使い方相談窓口のフリーダイヤル**
  VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  ホームページから電話サポートを予約いただくと、ご指定の日時にオペレーターからお電話を差し上げます。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら操作方法などをご案内します。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **メールサポート**
  使いかたや技術的な質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。ご購入後1年間はご利用無料です。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でVAIOに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

③ 特典情報やキャンペーンなど、VAIOに関するさまざまな情報を提供

VAIOをより楽しむための様々な優待サービスをご利用いただける権利「My VAIO Pass」（無償）をご提供いたします。詳しくは、「VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」」（126ページ）をご覧ください。

！ご注意

VAIOカスタマー登録の特典などは、2009年10月時点での情報（予定を含む）です。内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

ヒント

- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（41ページ）までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録での個人情報取り扱いについて

ソニーでは、カスタマー登録時にご提供いただくお客様の個人情報について、適切な取り扱いに取り組んでおります。個人情報の取り扱いについて詳しくは、下記をご参照ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/agreement.html

VAIOカスタマー登録の方法

！ご注意

- ご登録いただくVAIOをインターネットに接続してから、VAIOカスタマー登録を行ってください。
- VAIO オンラインカスタマー登録を行うには、「コンピューターの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録を行っていただいてから、登録完了までに1 ～ 2時間程度お時間がかかります。ご了承ください。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリーをした後などに再び行う必要はありません。
住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。
- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、メールアドレスが必要です。

1 **（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。**

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

！ご注意

機種によって「VAIO オンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。
この場合は「My VAIO」（http://sony.jp/vaio/myvaio/）の「My VAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 **内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。**

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

!ご注意

- 表示されたIDは、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートをご利用になるには、「My Sony ID」が必要になります。
- ご登録いただいた電話番号は、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」をご利用の際に必要となる場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話番号：(0466) 38-1410 (通話料お客様負担)
(ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ)

受付時間：平日　9時～ 20時
土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
(年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。)

!ご注意

- VAIOの使いかたについては、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」までお問い合わせください。
詳しくは「電話で問い合わせる」(114ページ)をご覧ください。
- VAIOの修理については、VAIOカスタマーリンク「修理相談窓口」までお問い合わせください。
詳しくは「修理を依頼されるときは」(120ページ)をご覧ください。

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリーディスクを作成してください。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリーディスクを作成してください。
  リカバリーディスクの作成について詳しくは、「リカバリーディスクを作成する」(76ページ)をご覧ください。

❑ Windows Updateを実行してください。

- より安定した状態でVAIOをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
  (（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。)

❑ VAIO Updateを実行してください。

- 「VAIO 電子マニュアル」の「VAIO Updateを利用する」をご覧ください。

❑ 電子メールを使いたい。

- 「Windows Live メール」ソフトウェアを使って、電子メールをやりとりできます。
  (（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Live]－[Windows Live メール]をクリックする。)

本機をお使いになる際のご注意

機器の底面や排気口付近は熱くなります。
低温やけどの原因となることがあるため、長時間これらの部分に触れないでください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 (スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 [シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント

お買い上げ時の設定では、⏻(パワー)ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリーに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「スリープモード／休止状態にする」をご覧ください。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピューター同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやりとりすることができます。電子メールのやりとりには、「Windows Live メール」ソフトウェアを使います。（（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Live］－［Windows Live メール］をクリックする。）

インターネットに接続するまでの流れ

手順1
接続する回線の種類を決める
「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（45ページ）。

手順2
プロバイダーと契約する
手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダーを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダーからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3
回線装置などを接続・設定する
プロバイダーから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダーから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4（無線LANを使用しない場合）
本機を接続する
「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します（26ページ）。

手順4（無線LANを使用する場合）
本機を設定する
「無線LANで通信する」をご覧になり、無線LANに必要な設定をします（46ページ）。

！ご注意
- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティー対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダーもあります。
- 接続料金はプロバイダーにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダーにお問い合わせください。

FTTH（光）
光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット
ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH（光）と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL
一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH（光）ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス
- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダー接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバーなど）	プロバイダー
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダー
コンピューター側の設定	VAIOカスタマーリンク

無線LANで通信する

「インターネットに接続するまでの流れ」の手順3まで終了し（44ページ）、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「LAN ／無線LAN」と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 WIRELESSスイッチを「ON」に合わせる（131ページ）。

ワイヤレス機能がオンになり、WIRELESSランプが緑色に点灯します。
デスクトップ画面右下の通知領域にある（VAIO Smart Network）アイコンをクリックして「VAIO Smart Network」ソフトウェアを表示し、無線LANが有効になっていることを確認してください。無効の場合は、有効に設定してください。

2 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク（またはアイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

3 画面のリストから接続先の無線LANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択した無線LANアクセスポイントの欄に「接続」と表示されます。
リストに接続先の無線LANアクセスポイントが見つからない場合は、(更新)をクリックしてください。
セキュリティー キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じてセキュリティー キーを入力し、[OK]をクリックしてください。
入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

ヒント
セキュリティー キーを入力していったん接続すると、その無線LANアクセスポイントが登録され、次回以降接続するときはセキュリティー キーを入力せずに接続できます。

4 タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の「LAN ／無線LAN」と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク(または)アイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

2 [ネットワークと共有センターを開く]をクリックする。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする。

4 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

5 お使いになるアクセスポイントに合わせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先の無線LANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- アクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]のチェックボックスをオンにします。
- アクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックボックスをオンにします。

無線LANの通信を終了するには

WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせます。無線LAN機能がオフになり、WIRELESSランプが消灯します。

!ご注意

Bluetooth機能など他のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせると、他のワイヤレス機能もすべて終了します。

インターネットの セキュリティーについて

コンピューターを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティーについてご紹介いたします。

コンピューターウイルスとは

コンピューターウイルスとは、コンピューターに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピューターウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。

コンピューターウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピューターウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピューターウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピューターウイルス対策用ソフトウェアは、コンピューター内にコンピューターウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピューターウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。
また、お使いの機種によってはスパイウェア対策を行う「Spy Sweeper」ソフトウェアも用意されています。

!ご注意

複数のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを同時に使用すると、正常に動作しない場合があります。
「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェア以外のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを使用する場合は、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアをコントロールパネルからアンインストール(削除)してください。削除方法について詳しくは、Windowsのヘルプとサポートをご覧ください。
コンピューターウイルス対策用ソフトウェアについて詳しくは、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
なお、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを削除後の本機の動作保証はいたしません。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピューターウイルスは、コンピューターウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
Windowsのセットアップでコンピューターの保護の設定を有効にしていると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバーの更新はおすすめしません。ドライバーの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバーを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバーを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/windows/update/

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピューターに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティーについて

セキュリティーやコンピューターウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティーやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティー情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティーに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティー専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
　(0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

セキュリティーソフトウェアのお問い合わせ先について

マカフィー・PCセキュリティセンター

1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
- 製品のインストールに関するお問合せ
- マカフィー製品の使いかた、設定方法
- マカフィー製品に絡むコンピューターの障害

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
- ユーザー登録方法
- 契約情報の確認、更新
- キャンペーンに関するご相談

電話番号：
1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792 （IPフォン・光電話のかたはこちらへ）
※ いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：
1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
年中無休　9時～ 21時
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜　9時～ 17時（祝日、祭日は除く）
電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp
ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

パスワードを設定する

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
パスワードを設定すると、電源を入れたり、スリープモードまたは休止状態から復帰したりするときにパスワードの入力が必要になり、他の人に本機を使用されることを防ぐことができます。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（指紋センサー搭載モデル）（70ページ）
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録する

1 （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4 [アカウントのパスワードの作成]をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

6 [パスワードの作成]をクリックする。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

文字（アルファベットの大文字）

A, B, C, D, E ...

文字（アルファベットの小文字）

a, b, c, d, e ...

数字

0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

記号（文字または数字として定義されないもの）

` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ | : ; " ' <
> , . ? /

Windowsパスワードを変更する

1　（スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2　[ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3　[ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4　[個人用パスワードの変更]をクリックする。

5　「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6　「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント

パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントの入力」に入力してください。

7　[パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除する

1　（スタート）ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2　[ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3　[ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

4　[個人用パスワードの削除]をクリックする。

5　「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6　[パスワードの削除]をクリックする。

パワーオン・パスワードを設定する

BIOSの機能でパワーオン・パスワードを設定します。
本機の起動時に設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。
パワーオン・パスワードには、通常ユーザーが利用するユーザーパスワードと、BIOS設定の変更ができるマシンパスワードの2種類があります。

!ご注意

パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(70ページ)
(指紋センサー搭載モデル)

パワーオン・パスワードを登録する(マシンパスワード)

ヒント

パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を設定するには、パワーオン・パスワード(マシンパスワード)の設定が必要です。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント

パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

5 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

Enterキーを押して[Enabled]を選択します。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワードを登録する（ユーザーパスワード）

ヒント
パワーオン・パスワード（ユーザーパスワード）を設定するには、パワーオン・パスワード（マシンパスワード）の設定が必要です。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワードを変更する／削除する（マシンパスワード）

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

BIOSセットアップ画面が表示されます。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password]に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワードを変更する／削除する（ユーザーパスワード）

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。
パスワード入力画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力する。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。

4 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。

5 **現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。**

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 **←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。**

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワードを忘れてしまったときは

パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。

ユーザーパスワードの場合

マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。

マシンパスワードの場合

パスワード設定を解除することはできません。
修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ハードディスク・パスワードを設定する

BIOSの機能でハードディスク・パスワードを設定できます。
RAID搭載モデルをお使いの場合は、ハードディスク・パスワードは設定できません。

ヒント
ハードディスク・パスワードは、SSD搭載モデルでも使用することができます。

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクまたはSSDを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- **マスターパスワード(管理者用)**
  「コンピューターの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- **ユーザーパスワード**
  ハードディスクまたはSSDにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

!ご注意
- この機能は、企業内など特別にセキュリティーが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピューターの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- **パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、ハードディスクまたはSSD内のデータが使用できなくなります。**
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスクまたはSSD内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスクまたはSSD内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたはSSDのデータをリカバリーすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクまたはSSDの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスクまたはSSD内のデータはすべて失われます。
    VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクまたはSSDのみに有効です。
  外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクまたはSSDを本機以外のコンピューターに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

ヒント
- パスワードを無断で設定・変更・無効化されることのないよう、BIOSセットアップ画面を操作中は本機から離れないでください。
- パワーオン・パスワードを設定している場合は、パワーオン・パスワードとハードディスク・パスワード(ユーザーパスワード)の両方を入力することで本機を使用することができます。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(70ページ)
  (指紋センサー搭載モデル)

ハードディスク・パスワードを登録する

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に登録します。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

警告画面が表示されるので、[Continue]を選択してEnterキーを押してください。

5 マスターパスワードを入力してEnterキーを押し、続けてユーザーパスワードを入力してEnterキーを押す。

！ご注意
マスターパスワードとユーザーパスワードはそれぞれ2度ずつ入力する必要があります。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを変更する（マスターパスワード）

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4 [Change Master Password]を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

！ご注意
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

[Enter Current Hard Disk Master Password]に現在のパスワードを、[Enter New Hard Disk Master Password]と[Confirm New Hard Disk Master Password]に新しいパスワードを入力します。「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを変更する（ユーザーパスワード）

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4 [Change User Password]を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

!ご注意
新しいパスワードは2度入力する必要があります。

[Enter Current Hard Disk User Password]に現在のパスワードを、[Enter New Hard Disk User Password]と[Confirm New Hard Disk User Password]に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを削除する

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に削除します。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

5 [Enter Current Hard Disk Master Password]に現在のマスターパスワードを入力し、他の項目は何も入力せずにEnterキーを押す。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを忘れてしまったときは

パスワードを忘れると、本機の起動やハードディスクまたはSSD内のデータの使用ができなくなります。

ユーザーパスワードの場合

マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。

マスターパスワードの場合

パスワード設定を解除することはできません。ハードディスクまたはSSDの交換修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

TPMを使う（TPMセキュリティーチップ搭載モデル）

TPM（Trusted Platform Module）の機能を使うと、セキュリティーの基本機能が提供され、データの暗号化や復元を行ってセキュリティーを強化することができます。

* TPMは、TCG（Trusted Computing Group）により定義されています。

！ご注意

- 本機は、TPMを用いたセキュリティー機能を搭載していますが、データやハードウェアの完全な保護を保障するものではありません。
  TPMの使用によるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を修理などに出す場合、TPM内およびハードディスクまたはSSD上のデータなどは、お客様にてバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  修理により、万一データが消失した場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の修理の際にメイン基板を交換する場合は、TPMも交換されます。
- TPMに関するデータの保守・運用は、お客様にて行ってください。TPMに関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Infineon TPM Professional PackageでTPMを設定する

Infineon TPM Professional Packageを使うと、TPM機能を使用したデータの暗号化や復号化ができます。

！ご注意

- TPMの初期化を行う場合、設定したパスワードはメモを取るなどして、忘れないようにしてください。メモしたパスワードを他人に知られないように管理してください。
  パスワードを忘れた場合、TPMで保護されたデータはいかなる手段を用いても復元することはできません。
- TPMの初期化を行う際に保存する自動バックアップ アーカイブ、緊急時復元用トークン、パスワードリセットトークン、パスワード リセット シークレットファイルなどは、必ずバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  これらのファイルを紛失した場合、TPM設定の復元やパスワードリセットなどの機能が使用できなくなる場合があります。
- ユーザーの初期化を行う場合、初期化ウィザード終了後に自動バックアップの設定を必ず行ってください。
  また、この設定終了時の画面で、[自動バックアップを今すぐ起動]をチェックし、バックアップファイルを更新してください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。

オペレーティングシステムファイルやプログラムファイルの暗号化に対するご注意

TPMを使用した暗号化ファイルシステム（EFS）により、オペレーティングシステムや各種プログラムが使用しているファイルを暗号化すると、それらの起動や動作に支障をきたす場合があります。「Windows」フォルダー、「Program Files」フォルダーやその中のファイルを暗号化しないでください。
EFSをお使いいただくときは、以下の点にご注意ください。

- 暗号化したいデータは、初期化の際に既定値で作成する「暗号化されたデータ」フォルダーに保存するか、自分のアカウントの「ドキュメント」フォルダーに新たなフォルダーを作成して暗号化し、その中に保存してください。
  または、Personal Secure Driveにデータを保存すると、自動的に暗号化されます。
- エクスプローラーの［フォルダーと検索のオプション］の［表示］タブ内の以下の設定を、既定値のままにしてください。
  - ファイルとフォルダーの表示：隠しファイル、隠しフォルダー、または隠しドライブを表示しない
  - 保護されたオペレーティング システムファイルを表示しない（推奨）：チェックあり
- 必要な場合以外は、ファイル属性（読み取り専用、隠しファイル、システム属性）を変更しないでください。
- 「ユーザー」フォルダーやその中のアカウントのフォルダーをすべてまとめて暗号化しないでください。

ヒント

Personal Secure Drive（PSD）とは、ハードディスクまたはSSDの一部に作成される、暗号化された仮想ドライブのことです。

キー ファイルやPersonal Secure Drive ファイルの暗号化に対するご注意

TPMソフトウェアがインストールされている環境で、プラットフォームの初期化が終わり、かつユーザーの初期化の際にEFS機能が選択されている状態で、下記フォルダー内に作成されているファイルをEFSで暗号化すると、TPMソフトウェアが正常に起動しなくなり、暗号化したデータを復号できなくなります。
下記のフォルダー内のファイルをEFSで暗号化したり、フォルダーやファイルの属性を変更しないでください。
なお、TPMソフトウェアをインストールして初期化した状態では、下記フォルダー内のファイルはシステム属性を持たせることにより暗号化されるのを防いでいます。

- キーやデータファイルのあるフォルダー
  - C:¥ProgramData¥Infineon
  - C:¥ユーザー ¥All Users¥Infineon
  - C:¥ユーザー ¥<account>¥AppData¥Roaming¥Infineon
- Personal Secure Driveファイル
  - C:¥Security Platform¥Personal Secure Drive¥System Data¥xxxxxxxx.FSF

ヒント

- Windowsの初期設定の状態では、上記のフォルダーは参照できません。
- C:¥ユーザー ¥All Usersは、C:¥ProgramDataへのショートカットです。

バックアップファイルやその他ファイルの暗号化に対するご注意

バックアップ アーカイブ、緊急時復元トークンを暗号化すると、緊急時に復元ができなくなります。またパスワード リセット トークン、パスワード リセット シークレットファイルを暗号化すると、パスワードのリセットができなくなります。
以下のファイルまたはフォルダーを暗号化しないでください。

- **自動バックアップ アーカイブ ファイル**
  - 既定のファイル名：SPSystemBackup.xml
    またはSPSystemBackup_"コンピューター名".xml
- **自動バックアップ アーカイブ格納フォルダー（その中のファイルも含む）**
  - フォルダー名（固定）：SPSystemBackup（SPSystemBackup.xmlファイルが作成されるフォルダーのサブフォルダーとして作成されます。）
    またはSPSystemBackup_"コンピューター名"（SPSystemBackup_"コンピューター名".xml ファイルが作成されるフォルダーのサブフォルダーとして作成されます。）
- **緊急時復元用トークン ファイル**
  - 既定のファイル名：SPEmRecToken.xml
- **パスワード リセット トークン ファイル**
  - 既定のファイル名：SPPwdResetToken.xml
- **統合された緊急時復元／パスワード リセット トークン ファイル**
  - 既定のファイル名：SPToken_"コンピューター名".xml
- **パスワード リセット シークレット ファイル**
  - 既定のファイル名：SPPwdResetSecret.xml
    またはSpPwdResetSecret_"コンピューター名"_"ユーザー名"[."ドメイン名"].xml
- **キーと証明書用バックアップ ファイル**
  - 既定のファイル名：SpBackupArchive.xml
- **PSD バックアップ ファイル**
  - 既定のファイル名："ドライブ名"-Personal Secure Drive.fsb
- **所有者パスワード バックアップ ファイル**
  - 既定のファイル名：SpOwner_"コンピューター名".tpm
- **プロトコル ファイル**
  - 既定のファイル名：SpProtocol_"コンピューター名"_"ユーザー名"[."ドメイン名"].txt

ヒント
これらのファイルの保存先の既定パス、または［参照］をクリックしたときの既定パスは、ドキュメント¥Security Platform、またはリムーバブル メディアの¥Security Platformです。

!ご注意
誤って上記フォルダーをEFS暗号化した場合やTPMソフトウェアのアーカイブ、緊急時復元用トークン、パスワードリセットトークン、パスワード リセット シークレットファイルを暗号化した場合、当社でデータを復元することはできません。
また、この場合のいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

基本ユーザーパスワードの有効期限に関するご注意

基本ユーザーパスワードの有効期限の初期値は、［無期限］になっています。

ステップ1：BIOS設定でTPMを有効にする

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されなかった場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で「Change TPM State」を[Enable]にする。

4 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

5 本機が再起動した後、確認画面が表示されるので、[Execute]を選択する。

ヒント

BIOS設定内では、次の設定ができます。

- TPMを有効にする。
- TPMを無効にする。
- TPMの設定をクリアする。

  * 設定をクリアした場合、TPMで暗号化されているデータに再びアクセスすることはできません。
  TPMで暗号化されているデータが残っている場合は、必要に応じてデータのバックアップなどを行ってから、設定をクリアしてください。

！ご注意

TPMを有効にする場合は、設定を第三者に変更されることのないようパワーオン・パスワードを設定してください。（54ページ）

ステップ2：「Infineon TPM Professional Package」をインストールする

「C:¥Infineon¥Readme」のフォルダー内にあるReadme.txtファイルをよくお読みになった後、「C:¥Infineon¥setup.exe」にあるインストーラーをダブルクリックしてインストールを行ってください。

！ご注意

この操作を行うには、「コンピューターの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ステップ3：TPMの初期化・設定を行う

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Infineon Security Platform ソリューション]－[ヘルプ]をクリックして表示されるヘルプをご覧いただき、お客様に必要な設定を行ってください。

!ご注意

- 初期化ウィザード終了後には、次の手順で必ず自動バックアップの設定をしてください。
  ① デスクトップ画面右下の通知領域にある (TPMアイコン)を右クリックして表示されるメニューから、Windowsのマークの付いた[Security Platform を管理する]を選択する。
  ② 表示された画面の[バックアップ]タブをクリックして、[設定]をクリックする。
  ③ 自動バックアップのスケジュールなどを設定する。
  設定終了時に[自動バックアップを今すぐ起動]チェックボックスが表示された場合はチェックをつけ、バックアップファイルを更新してください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。
- 設定したパスワードを忘れたり、バックアップファイルを紛失したりすると、TPMで保護されたデータを復元することができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  また、バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。

指紋認証を使う（指紋センサー搭載モデル）

指紋認証でできること

本機では、指紋認証を使用して便利な機能を使用することができます。

！ご注意

指紋認証を使用するには、あらかじめ指紋を登録しておく必要があります。（69ページ）

パスワードの解除

- **Windowsにログオンする**

  指紋が登録されているユーザーのアカウントに対して、Windowsログオン時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、Windowsにログオンすることができます。（70ページ）

- **パワーオンセキュリティーを使ってシステムにログオンする**

  パワーオン・パスワード（54ページ）やハードディスク・パスワード（57ページ）を設定している場合は、システム起動時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、パスワードを解除することができます。（70ページ）

パスワードバンク

Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることもできます。
パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定しておく必要があります。

暗号化アーカイブ

- File Safe

  ファイルやフォルダーを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。また、指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダーの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダーにアクセスしたりできるようになります。

- Personal Safe

  デスクトップまたはコンピューター上の保護されたフォルダー内のファイルを暗号化します。このフォルダーは、コンピューターを共有している他のユーザーには表示されません。

アプリケーションランチャー

指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。
アプリケーションランチャーを使用するには、すでに指紋センサーに登録している指とアプリケーションの関連付けを行います。

ストロングパスワードジェネレーター

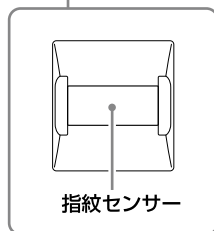
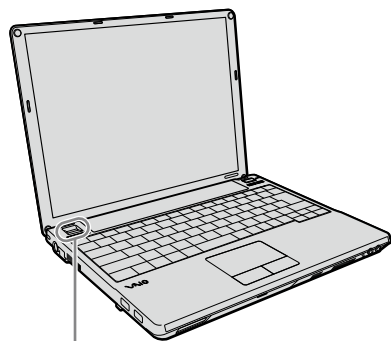
ストロングパスワードジェネレーターを使うと、辞書攻撃を受けにくい複雑なパスワードを生成することができます。生成されたパスワードをパスワードバンクに登録することで、複雑なパスワードを覚える必要なくセキュリティーを強化することができます。

ヒント

各機能について詳しくは、「Protector Suite」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
（（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［Protector Suite］ー［コントロールセンター］をクリックし、表示された画面左側の［ヘルプ］ー［ヘルプ］をクリックする。）

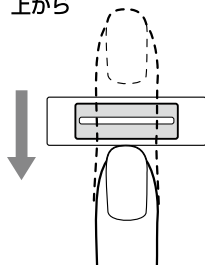
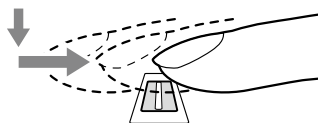
指紋をスキャンする

指紋の登録や認証時のスキャンは、以下の手順で行います。

1 指の第一関節付近を指紋センサーの上に置く。

ヒント

- 指は指紋センサーの上に平たく置いてください。
- 指は指紋センサーの中央に置いてください。

2 指を直線状に手前に向かってスライドする。

上から

横から

!ご注意

- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 指のスライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できない場合があります。
  1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋を設定する

指紋を登録するには

本機は指紋認証を行うことで、パスワードの入力を省略することができます。

！ご注意

- けがなどに備えて、複数の指を登録するようにしてください。
- 指紋の状態や使用状況などにより、指紋の登録ができない場合があります。
- パワーオンセキュリティーを使ってシステムにログオンできる指紋の数には制限があります。また、指紋によってデータ量が異なるため、登録できる指紋の数は状況によって異なります。
  パワーオンセキュリティーで使用する指をあとから指定することもできます。
- 「デバイスには十分の永久メモリがありません」と表示された場合は、パワーオンセキュリティー用に登録できる指紋の数が上限に達しています。新しい指紋を追加するには、パワーオンセキュリティーに登録済みの指紋から不要なものを削除してください。
  なお、このメッセージが表示された場合でも、Windowsログオン用の指紋は引き続き登録できます。

ヒント

指紋を登録する前に、Windowsのパスワードを設定してください。（52ページ）

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite]－[コントロールセンター]をクリックする。

使用許諾契約書が表示されます。

2 内容をよく読み、[受け入れる]をクリックする。

認証画面が表示されます。

3 画面の指示に従って操作する。

ヒント

- スキャンの方法は「指紋をスキャンする」をご覧ください。
- コントロールセンターホーム画面右側の[認証]－[状況]をクリックすると、指紋の登録後に利用できる機能の確認や変更ができます。

指紋を削除するには

コンピューターを廃棄あるいは第三者に譲渡するときなどには、ハードディスクまたはSSD内のデータを消去した後、以下の手順に従って指紋センサー内の指紋データも同時に消去することを強くおすすめします。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で↓キーを押して[Clear Fingerprint Data]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されます。

4 [Continue]を選択してEnterキーを押す。

次回起動時に指紋センサー内に保存されている指紋データが消去されます。

指紋認証でシステムにログオンする

Windowsにログオンするには

指紋が登録されているユーザーのアカウントにログオンする場合、Windowsログオン時のパスワード入力を指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

1 Windowsのログオン画面が表示されたら、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。**（68ページ）**

Windowsにログオンします。

パワーオンセキュリティーを使ってシステムにログオンするには

パワーオン・パスワード（54ページ）やハードディスク・パスワード（57ページ）の設定を行っている場合は、システム起動時のパスワード入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

！ご注意

パワーオンセキュリティーを使うには、あらかじめパワーオンセキュリティーを有効にしておく必要があります。

1 本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、認証画面が表示されます。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

パスワードを入力せずに、システムにログオンします。

ヒント

- Escキーを押すと、指紋認証画面がキャンセルされ、通常どおりにキーボードからパスワードを入力することもできます。
- パワーオンセキュリティーを使ってシステムにログオンできる指紋の数には制限があります。

指紋認証についてのご注意

指紋認証全般のご注意

- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。また、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害についても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋の認証率は、使用状況などにより異なります。また、個人差があります。
- 修理などに出す前に、File Safeで暗号化しているデータなどは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。修理により、万一データが消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の修理などを行った場合、ハードディスクまたはSSDを初期化して返却する場合があります。その場合は、登録済みのお客様の指紋情報などは復元することはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 指紋認証機能に関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次のような場合は、指紋センサーの故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサーの表面を硬いものや先のとがったものなどで傷つけた場合
  - 泥などの汚れがついた指でスキャンするなど、細かい異物などで表面を傷つけた場合
- 冬期など特に乾燥する時期は、金属に触れて体の静電気を逃がしてからスキャンしてください。静電気で指紋センサーが故障するおそれがあります。

指紋の登録／認証時のご注意

指の状態が次のような場合は、指紋の登録／認証が困難になる場合があります。
なお、他の指を使用したり、手を洗うなどして通常状態に戻してから指紋認証を行ったりすることで改善される場合もあります。

- 乾燥している場合
- 汗や脂が多かったり、濡れていたりしている場合
- お風呂上りなどで指がふやけている場合
- 手が荒れている、指にけが（切り傷など）をしている場合
- 汚れている場合
- 指紋が薄い、しわが多い場合　など

指紋センサーのお手入れ

指紋センサーの表面の指紋やほこりが原因で、指紋認証率が低下する場合があります。

- 普段のお手入れは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、レンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。

増設する

メモリーを増設する

メモリーを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリーモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリーについては、別紙「主な仕様」をご覧ください。

メモリーを増設するときのご注意

- メモリーの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリーの増設を行った場合には、内部端子の接続不備や破損、メモリーの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリー増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリー増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリー増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリー増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリーモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリーモジュールの販売元にご相談ください。

キーボード下のスロットのメモリーを増設するときのご注意

本機には底面およびキーボード下の2か所にメモリーモジュールを取り付けるスロットがありますが、本書および「VAIO 電子マニュアル」では、本体底面のスロットを使ったメモリー増設方法のみを記載しています。
キーボード下のスロットのメモリー増設を行う場合は、VAIOカスタマイズサービスをご利用ください。
なお、VAIOカスタマイズサービスでは、ソニー純正メモリーのみを取り扱っております。

VAIOカスタマイズサービス

http://sony.jp/vaio/customize/

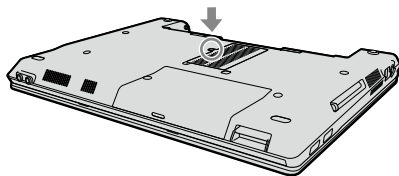
メモリーを取り付けるには

!ご注意

- メモリーモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリーを取り付けた状態でメモリーモジュールを取り付けると、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールを破壊しないように、メモリーモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリーモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
- メモリーモジュールには、向きがあります。メモリーモジュールのエッジ端子の切り欠き部分とスロットの端子（溝の内側）部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリーモジュールをスロットに押し込むと、メモリーモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

底面のネジをプラスドライバーで取りはずします。

!ご注意

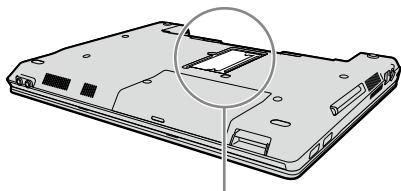
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

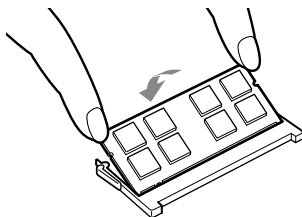
3 本機の金属部などに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリーモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4 メモリーモジュールを取り付ける。

① メモリーモジュールのエッジ端子部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリーモジュールをゆっくりと倒す。
メモリーモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリーモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

① メモリーモジュールの両端を持って、端子部分から差し込む

② メモリーモジュールの両端を、両手を使って押し、「カチッ」と音がするまで倒す

!ご注意

- メモリーモジュール以外の部品や基板などには触れないようにご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6 手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付けて、本機の電源を入れる。

メモリー容量を確認するには

メモリーモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリー容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]－[システム情報]をクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3 「システムメモリー」の項目が増設後のメモリー容量になっていることを確認する。

メモリーの容量が正しければ、メモリーの増設は完了しました。
メモリーの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリーモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

メモリーを取りはずすには

!ご注意

- メモリーモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリーモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリーモジュールを破壊しないように、メモリーモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリーモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリーモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

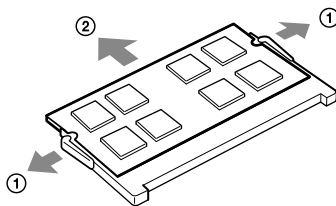
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 「メモリーを取り付けるには」の手順2を行う。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリーモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリーモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリーモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

5 手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付ける。

バックアップ

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピューターに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピューターウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。
バックアップについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「バックアップとは」をご覧ください。

リカバリーディスクを作成する

リカバリーディスクについて

本機のハードディスクまたはSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリーには、リカバリーディスクを使用する場合があります。リカバリーディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
なお、ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

！ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域の情報を書き替えてしまい、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリーセンター」を使用しないでハードディスクまたはSSDをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリーディスクによるリカバリーが必要となりますが、リカバリーディスクを作成していないと、リカバリーディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリーディスクを作成することをおすすめします。

リカバリーディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリーディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

* ホームページからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。（39ページ）

！ご注意

- 本機で作成したリカバリーディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリーディスクを使うと、暗号化していないハードディスクまたはSSD上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクまたはSSDのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクまたはSSDの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリーディスクを作成するには

リカバリーディスクを作成するには、未使用の書き込み可能なディスクが必要です。本機には付属しておりませんので別途ご用意ください。
また、ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けDVDドライブなどを本機に接続してください。外付けドライブは、ACアダプターで電源に接続してご使用ください。

！ご注意

- ハードディスクまたはSSD上の空き容量が少ない場合は、リカバリーディスクを作成できません。
- Blu-ray Disc、DVD-RAM、CD-RまたはCD-RWはリカバリーディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- お使いの機種によっては、お買い上げ直後の状態でも空き容量が足りないため、DVD+R DLおよびDVD-R DLでリカバリーディスクを作成できない場合があります。
- ディスクの記録面に触れたり、汚したりしないようにしてください。書き込みや読み取りエラーの原因になります。

ヒント

- リカバリーディスクを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
  VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「VAIO Updateを利用する」をご覧ください。
  VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
- 本機をリカバリーした際には再びVAIO Updateを実行してください。

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリーディスクを作成してください。

1　（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリーセンター］をクリックする。

「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

2 画面左側の[リカバリーディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ヒント
画面下部のチェックボックスにチェックを付けると、リカバリーディスクの作成完了後に、ディスクが正しく作成されたかどうかの確認を行います。チェックを付けることをおすすめします。(チェックを付けない場合に比べて処理に時間がかかります。)

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリーディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリーディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリーディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

!ご注意
ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

すべてのリカバリーディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリーディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。

リカバリーする

リカバリーとは

本機のハードディスクまたはSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリーディスクを使用しなくても、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーすることができます。

リカバリー領域とは

リカバリー領域とは、リカバリーを行うために必要なデータがおさめられているハードディスクまたはSSD内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリー領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたはSSDの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリー領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーできなくなる場合があります。
本機は、リカバリーディスクを使用してリカバリー領域を削除することができます。

リカバリーの種類

リカバリー方法を次の2種類から選択することができます。通常は、「C ドライブのリカバリー」をおすすめします。

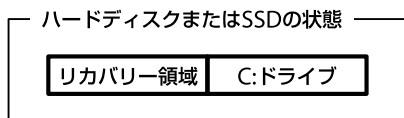
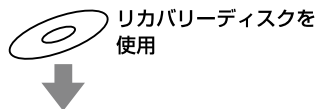
❑ C ドライブのリカバリー

C:ドライブにあるすべてのデータを削除した上で、お買い上げ時の状態に戻します。

C:ドライブのみデータが削除され、リカバリー領域や、追加で作成したパーティションのデータは削除されません。

❑ お買い上げ時の状態にリカバリー

ハードディスクまたはSSD上のすべてのドライブを削除し、パーティションの構成をリカバリー領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。また、パーティションサイズを変更したい場合もこちらを選択してください。

リカバリーディスクを使用

ハードディスクまたはSSD上にあるすべてのデータが削除されます。

!ご注意

- リカバリーで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域を使ってリカバリーしたり、リカバリーディスクの作成が行えないことがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリーディスクを作成してください。（76ページ）

リカバリー前に確認してください

- 本機をリカバリーした場合、それ以前にハードディスクまたはSSD上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリーする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリーに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリーが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリー後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリー後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリーする際は、必ず最後までリカバリーを行ってください。リカバリーが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリーができなくなる場合があります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてリカバリーできなくなったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合やリカバリーディスクからリカバリーするには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

著作権保護されている音楽データなどをバックアップする際のご注意

著作権保護されているデータ（音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データ）をバックアップするために、これらのデータを取り込んだ時に使用したソフトウェアの専用バックアップツールが用意されている場合があります。

本機をリカバリーする場合、これらのデータはあらかじめ専用バックアップツールを使ってバックアップしてください。

専用バックアップツールをお使いにならずに、本機をリカバリーし、データを復元しても、著作権保護されているデータは復元できない場合がありますのでご注意ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには

Windowsが起動しない状態でリカバリーするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリーディスクを使ってリカバリーする
  リカバリー領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリーディスクを使ってリカバリーすることができます。ただし、リカバリー領域からリカバリーするよりも時間がかかります。
- リカバリー領域からリカバリーする
  ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーするため、リカバリーディスクを使うよりも速くリカバリーすることができます。

ヒント

Windowsが起動する状態でリカバリーする場合は、「VAIO 電子マニュアル」の「Windowsからリカバリーするには」をご覧ください。

リカバリーディスクを使ってリカバリーするには

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けDVDドライブなどを本機に接続してください。外付けドライブは、ACアダプターで電源に接続してご使用ください。

1 本機の電源を入れる。

2 ドライブにリカバリーディスクを入れる。

3 外付けドライブをお使いの場合は、F11キーを数回繰り返し押す。

「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

4 矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[C ドライブのリカバリー]または[お買い上げ時の状態にリカバリー]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(83ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリーを行う前にハードウェア(CPU、メモリー、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
- リカバリー領域を削除していない場合は、複数のリカバリーディスクのうち、一部を使用せずにリカバリーが完了することがあります。

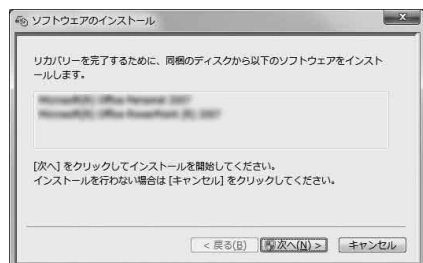
Windowsのリカバリーが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

6 画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。
- Officeは以下の手順でインストールします。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

④「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピューターからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。

⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

⑦ Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順②から⑥と同じ手順でインストールしてください。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
(84ページ)

リカバリー領域からリカバリーするには

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、以下の手順を行う前にあらかじめ別売りの外付けドライブを接続しておいてください。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。**

ブートオプション(Boot Options)を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
以降、リカバリーディスクを使ったリカバリーの手順5からの操作と同様です。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
(84ページ)

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスクまたはSSD上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスクまたはSSD上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクまたはSSDの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー（バックアップ）するには

！ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 **本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。**

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
ブートオプション（Boot Options）を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順3に進む。

2 **矢印キーで「VAIO リカバリーセンター」を選択し、Enterキーを押す。**

しばらくすると「VAIO リカバリーセンター」画面が表示されます。

3 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から3の操作を行い、[中断した作業を再開する]チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD / DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD / DVDドライブはUSB接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダーやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダーを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意
音楽再生ソフトウェアで管理している音楽データや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保証はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダーから移動してお使いください。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次のいずれかの解決方法をお試しください。また、メッセージなどが表示されている場合は書き留めておいてください。お問い合わせのときに、必要になることがあります。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（88ページ）

コンピューターが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
コンピューターが動作するときは、より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリーセンター］をクリックして、表示された画面で［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（108ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックしてください。

「Windows ヘルプとサポート」をご覧ください。（108ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（108ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（108ページ）

！ご注意

本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2009年10月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。
（109ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOサポートページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1～3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（114ページ）

❑ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。
電話番号や営業時間など詳しくは、「電話で問い合わせる」（114ページ）をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、VAIOサポートページの「付属ソフトウェアに関するお問い合わせ」をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

電源／起動（90ページ）

- 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）
- 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（充電ランプがすばやく点滅している）
- 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- 電源を入れてもWindowsが起動しない。
- 充電ランプの表示について知りたい。

パスワード（95ページ）

- Windowsパスワードを設定、変更したい。または削除して、起動時にパスワードを入力しないようにしたい。
- Windowsパスワードを忘れてしまった。
- パワーオン・パスワードを忘れてしまった。
- ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

画面／ディスプレイ（97ページ）

- 画面に何も表示されない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない。
- 画面が暗い。
- 画面の輝度（明るさ）を調節したい。
- 画像が乱れる。
- 画面にドット欠損（輝点・滅点）がある。

文字入力／キーボード（99ページ）

- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

タッチパッド(101ページ)

- タッチパッドが使えない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。
- Webブラウザーなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。
- ポインターが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

ハードディスク/ SSD(103ページ)

- 誤ってハードディスクまたはSSDを初期化してしまった。
- ハードディスクまたはSSDの内容を誤って消してしまった。
- ハードディスクまたはSSDの空き容量を知りたい。
- ハードディスクから異音がする。(ハードディスクドライブ搭載モデル)
- リカバリー領域の容量を知りたい。

CD / DVD(ディスクドライブ搭載モデル)(105ページ)

- ディスクの読み込み・再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

インターネット(106ページ)

- インターネットに接続できない。
- 無線LANが使えない。

FeliCa(FeliCa機能搭載モデル)(107ページ)

- FeliCa機能が使えない。

エラーメッセージ(107ページ)

- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- メッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「VAIO 電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」画面が表示されます。
「よくあるトラブルと解決方法」のページをご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリーが正しく装着されているか確認してください。（24ページ）

A 本機とACアダプター、ACアダプターと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（28ページ）
ウォールマウントプラグアダプターをご使用の場合は、ウォールマウントプラグアダプターとACアダプター、ウォールマウントプラグアダプターとコンセントがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。（ウォールマウントプラグアダプター付属モデル）

A バッテリーの残量がまったく無い可能性があります。
バッテリーの充電について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「バッテリーの充電／表示の見かた」をご覧ください。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラーが停止している可能性があります。
ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（充電ランプがすばやく点滅している）

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（24ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
バッテリーを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。

A メモリーモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。
サポート対象外のメモリーモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリーモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリーモジュール以外のメモリーモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリーモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか？」というメッセージが表示されるので、[保存する]などをクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]を選択して[OK]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows 7は、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバーによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「シャットダウンしています」などと表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプターとバッテリーをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプターで使用するか、バッテリーを充電してください。

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（24ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
システムに異常があります。本機の電源が切れたあと、バッテリーを取りはずし、純正の新しいバッテリーと交換してください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。
「Windowsが起動しない状態でリカバリーするには」（81ページ）の手順に従って、リカバリーを行ってください。

A 「Remove disks or other media. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合は、USB機器の接続状態について確認してください。

- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や自作のリカバリーディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリーしてください。

A パワーオン・パスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」と表示されWindowsが起動しません。
本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
なお、パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力してください。

！ご注意
RAID搭載モデルをお使いの場合は、ハードディスク・パスワードは設定できません。

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windows Error Recovery」と表示される場合、「Start Windows Normally」が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows Error Recovery」（黒い画面）が表示されます。
その場合は、「Start Windows Normally」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

Q 充電ランプの表示について知りたい。

A バッテリーの動作状態により、充電ランプの表示が異なります。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「バッテリーの充電／表示の見かた」をご覧ください。

パスワード

Q Windowsパスワードを設定、変更したい。または削除して、起動時にパスワードを入力しないようにしたい。

A 詳しくは「Windowsパスワードを設定する」(52ページ)をご覧ください。

Q Windowsパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピューターの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリーする」(79ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A パスワード(54ページ)を忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(70ページ)
(指紋センサー搭載モデル)

Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワード（57ページ）を忘れると、起動やハードディスクまたはSSD内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスクまたはSSD内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたはSSDのデータをリカバリーすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD ／ DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクまたはSSDの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたはSSD内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（70ページ）
（指紋センサー搭載モデル）

！ご注意

RAID搭載モデルをお使いの場合は、ハードディスク・パスワードは設定できません。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源で使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリーで使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「電源オプションを変更する」をご覧ください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。
① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A 画面の色数の設定が「True Color（32 ビット）」になっているか確認してください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「画面の解像度／色数を変更する」をご覧ください。

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
（スタート）ボタン－［シャットダウン］をクリックして電源を切り、本機の⏻（パワー）ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定が自動で変更される場合があります。
画面の色補正設定を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「画面の色補正を設定する」をご覧ください。

Q 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、［タスク マネージャーの起動］をクリックする。（137ページ）
「Windows タスク マネージャー」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャー」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、［タスクの終了］をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面の輝度（明るさ）を調節したい。

A Fnキーを押しながらF5キーまたはF6キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

Q 画面が暗い。

A 照度センサーを覆うと、画面が暗くなります。
照度センサーを覆わないようにしてください。

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面にドット欠損(輝点・滅点)がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力/キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。
(137ページ)

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。
点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。
(137ページ)

A 英語配列キーボードをお使いの場合は、Altキーを押しながら[`]キーを押すと、日本語入力モードと英字入力モードを切り替えることができます。

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバーの設定を変更してください。
なお、この操作は「コンピューターの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

!ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。
    ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
② [システムとセキュリティ]をクリックする。
③ 「システム」の[デバイス マネージャー]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「デバイス マネージャー」画面が表示されます。
④ [キーボード]をダブルクリックする。
⑤ [標準 PS/2 キーボード](または[101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2]や[日本語 PS/2 キーボード(106/109)])を右クリックして、[ドライバー ソフトウェアの更新]を選択する。
「ドライバー ソフトウェアの更新」画面が表示されます。
⑥ [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックする。
⑦ [コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します] をクリックする。
⑧ [互換性のあるハードウェアを表示]のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[標準 PS/2 101/102 キーボード]を選択して、[次へ]をクリックする。
ドライバーの更新警告画面が表示された場合は[はい]をクリックします。
⑨ 「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されるので、[閉じる]をクリックする。
⑩ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
コンピューターが再起動します。再起動後に、キーボード配列が英語キーボードになります。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「タッチパッドの設定をする」をご覧ください。

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。
それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「タッチパッドの設定をする」をご覧ください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「タッチパッドの設定をする」をご覧ください。

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A スマートアクションの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ 「デバイスとプリンター」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ [機能]タブをクリックする。
⑤ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。
⑥ [OK]をクリックする。
スマートアクションの機能が無効になります。

Q Webブラウザーなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A Webアシストの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタン-[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② [ハードウェアとサウンド]をクリックする。
③ 「デバイスとプリンター」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
④ [機能]タブをクリックする。
⑤ [Webアシスト機能を使用する]のチェックをはずす。
⑥ [OK]をクリックする。
Webアシストの機能が無効になります。

Q ポインターが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインターが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインターを動かしてください。

それでもポインターが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (矢印)ボタン-[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク／ SSD

Q 誤ってハードディスクまたはSSDを初期化してしまった。

A ハードディスクまたはSSDにあったファイルは、復元できません。
ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や、ご自分で作成したリカバリーディスクを使って、本機をリカバリーする必要があります。（79ページ）

Q ハードディスクまたはSSDの内容を誤って消してしまった。

A 削除したファイルが「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。
「ごみ箱」の中に削除したファイルが残っていないか確かめてください。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリーする必要があります。

Q ハードディスクまたはSSDの空き容量を知りたい。

A （スタート）ボタンー［コンピューター］をクリックしてください。
「コンピューター」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする。（ハードディスクドライブ搭載モデル）

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［システム ツール］－［ディスク デフラグ ツール］をクリックする。

「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② 最適化するドライブを選択し、［ディスクの最適化］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリー領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① （スタート）ボタンをクリックし、［コンピューター］を右クリックして［管理］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

「コンピューターの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の［ディスクの管理］をクリックする。

「ディスク 0」に、リカバリー領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント

1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVD（ディスクドライブ搭載モデル）

Q ディスクの読み込み･再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。（146ページ）

A ディスクが正しくトレイに置かれているか確認してください。
ディスクは文字や画像が書いてある面を上にして入れてください。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「ディスクを入れる／取り出す」をご覧ください。

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブか確認してください。
本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。

- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールした、ディスクの再生・書き込みソフトウェアをアンインストールしてください。
お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。
この場合は、追加したソフトウェアを一度アンインストールしてご確認ください。アンインストールの方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

A CPRM（著作権保護機能）対応のDVDを再生するには、WinDVD CPRM Packをインストールする必要があります。

インターネット

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダーとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダーと契約する必要があります。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダーにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダーから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルやテレホンコードの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」（26ページ）をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（「インターネット接続」または「ホームページ」のページをご覧ください。）

Q 無線LANが使えない。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「よくあるトラブルとその解決方法」をご覧ください。（「LAN ／無線LAN」のページをご覧ください。）

FeliCa（FeliCa機能搭載モデル）

Q FeliCa機能が使えない。

A FeliCaカードの位置を確認してください。

本機の (FeliCaプラットフォームマーク)にあわせて置いてください。
それでも反応しない場合は、カードを数ミリ移動させるか、本機から数ミリ浮かせてください。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。

「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

1. (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
2. 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。

FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。

また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

エラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。」(93ページ)を確認してください。

Q メッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A 「「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。」(93ページ)を確認してください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」を見る

基本的な使いかたやよくあるトラブルの解決方法などが記載されています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動するには、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリックします。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

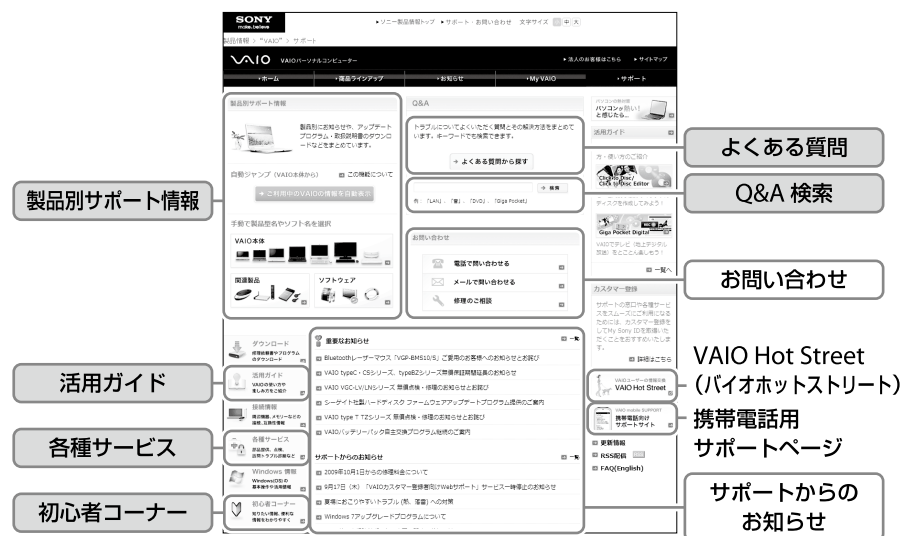
本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

トラブルの解決方法を豊富な事例から調べることができます。セキュリティーの最新情報やアップデートプログラムなど、VAIOを快適に使うための情報も提供しています。

!ご注意
VAIOサポートページの構成やデザインなどの内容は、2009年10月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは110ページ～ 113ページをご覧ください。

VAIOサポートページを見るには

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、(お気に入りセンター)から[VAIOサポートページ]－[1 トップページ(トラブル解決・使い方情報)]をクリックして表示します。

＜製品別サポート情報＞

お知らせやアップデートプログラムなどを掲載しているページです。お客様がお持ちのVAIOに関する情報のみに絞り込んで閲覧することができます。

自動ジャンプ（VAIO本体から）

→ ご利用中のVAIOの情報を自動表示

ヒント

VAIOサポートページ内の［自動ジャンプ］ボタンや［ご利用中のVAIOの情報を自動表示］ボタンを押すと、製品別サポート情報にワンクリックでアクセスできます。

＜よくある質問＞

画面について、キーボードについて、テレビ視聴について、特定のソフトウェアについてなど、カテゴリー別にまとめています。

＜Q&A検索＞

トラブルの解決方法をキーワードで検索して調べることができます。

ヒント

うまく検索できない場合は、入力するキーワードを別の言葉に置き換えて再度お試しください。また、検索画面に書かれている注意点をご確認ください。

＜活用ガイド＞

VAIOならではの活用方法やオリジナルソフトウェアの操作方法、お役立ち情報などをご紹介しています。

＜各種サービス＞

VAIOをさらに役立てる、便利に使うためのサービスや、設置設定、点検サービスなどをご案内しています。有料のサービスにつきましては、詳しくは「各種有料サービスのご案内」（127ページ）をご覧ください。

※一部のサービスでは、VAIOのカスタマー登録を行ったMy Sony IDが必要です。

＜初心者コーナー＞

初心者・初級者の方が知りたい情報をイラストを交え、わかりやすくご紹介しています。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートページ）

最新のサポート情報を携帯電話からご覧いただけます。VAIO本体からVAIOサポートページを閲覧できないときや、ソニーでお預かりしているVAIOの修理状況を確認したいときなどにご利用ください。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
  詳しくは、「「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について」（123ページ）をご覧ください。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - VAIO Hot Streetモバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザーの情報交換サイト）

VAIOをお持ちのお客様同士で、さまざまな活用情報を交換できるサイトです。
わからないことを質問しあったり、VAIOに関する意見や情報を投稿することができます。
自分は投稿せずに閲覧するだけという使いかたもできます。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、VAIOカスタマー登録を行っていただいた際に発行するMy Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

ヒント

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入りセンター）から［VAIOサポートページ］－［3 VAIO Hot Street（情報投稿サイト）］をクリックして表示することもできます。

投稿を見る
VAIOの製品型名やキーワードなど、お好きな方法で投稿を簡単に探せます。

投稿・質問する
質問や投稿はこちらからお気軽に。

人気投稿ランキング

電話で問い合わせる

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、VAIOに関する技術的なお問い合わせを電話で承っております。

「使い方相談窓口」のご利用について

「使い方相談窓口」は、VAIOをご購入された日から1年間は無料でご利用いただけます（VAIOカスタマー登録が必要）。2年目以降のお客様によるご利用は有料です。

❑ 無料と有料の区分

VAIOご購入日から1年間	無料 （カスタマー登録が必要）
VAIOご購入日から 2年目以降	有料 （1案件：2,100円）

❑ お支払方法

クレジットカードでのお支払いとなります。ご利用可能なカード会社は、VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/ダイナースです。

❑ VAIOサポートチケット（3回チケット）

3案件分のサポートをお得な料金でご利用いただける、3回チケットもご用意しています。詳しくはオペレーターにご相談ください。

3回チケット：5,250円（税込）

※チケットの有効期限は、チケットの購入日から1年間です。

※VAIOサポートチケットは電子チケットです。紙のチケットがお手元に届くわけではありません。あらかじめご了承ください。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

VAIOサポートページ「電話で問い合わせ」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

！ご注意

- 「使い方相談窓口」をご利用いただく前に、VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」をお読みください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html
- 音声ガイダンスの操作手順に従ってクレジットカード情報をご入力いただく場合があります。ただし、ご入力いただいた時点では課金されません。
  お問い合わせが有料となる場合は、課金の前にオペレーターよりご案内いたします。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「VAIO 電子マニュアル」やVAIOサポートページで、VAIOの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。

詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」(108ページ)、「VAIOサポートページで調べる」(109ページ)をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「ソフトウェアに関するお問い合わせ」(87ページ)をご覧ください。

それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ VAIOカスタマー登録をご確認ください

VAIOカスタマー登録がお済みのお客様に、VAIOご購入日から1年間は、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートを無料でご提供しております。また、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。

VAIOカスタマー登録の際にご登録いただいた電話番号で、発信者番号通知にてお電話をいただくと、自動的にご登録を確認できます。

非通知設定でおかけいただく場合などは、音声ガイダンスに従って、ご登録の電話番号の入力をお願いいたします。

VAIOカスタマー登録について、詳しくは「カスタマー登録する」(39ページ)をご覧ください。

❑ 以下の内容をご用意ください(② ～ ④は該当する場合のみ)

① 本機の型名(保証書または、本機IDラベルに記載されています。)

② 本機に接続している周辺機器名(メーカー名と型名)

③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ

④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

ヒント

IDラベルについて詳しくは、「各部の説明」のIDラベル(130ページ)をご確認ください。

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。

また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：（0120）60-3399（フリーダイヤル）
（ロクゼロ　サンサンキュウキュウ）

※VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間　平日：9時～ 18時　土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

！ご注意
- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント
音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：　平日　9時～ 20時
土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
（年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。）

！ご注意
- VAIOの使いかたについては、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」までお問い合わせください。
- VAIOの修理については、「修理相談窓口」までお問い合わせください。詳しくは「修理を依頼されるときは」（120ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(使い方相談窓口)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

電話受付の混雑状況を、VAIOサポートページで公開しています。

❑ かんたんアクセス(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOサポートページのトップページ(最初の画面)を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/callback.html

ご希望の日時に、VAIOカスタマーリンク(コールセンター)からお客様へお電話を差し上げるサービスです。日時の予約はインターネットで受け付けております。

予約受付:VAIOサポートページからご予約可能

❑ かんたんアクセス(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

① VAIOサポートページのトップページ(最初の画面)を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「コールバック予約サービス」のリンクをクリックする。

!ご注意

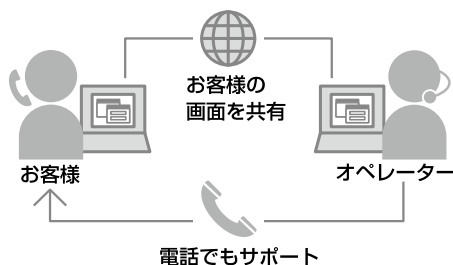
- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日から1年間、本サービスを無料でご利用いただけます。詳しくは「使いかたに関するお問い合わせ」(114ページ)をご覧ください。
- 本サービスは、VAIO本体やVAIOアクセサリーの使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」(109ページ)をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/remote.html

オペレーターがインターネット経由でお客様のVAIOの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。
「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」というかたは、ぜひお試しください。

!ご注意

本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。なお、お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ かんたんアクセス(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

① VAIOサポートページのトップページ(最初の画面)を表示し、「電話で問い合わせる」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「VAIOリモートサービス」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」(109ページ)をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる

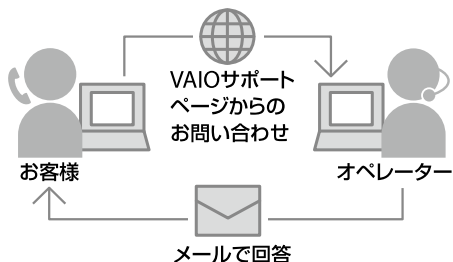
（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/mail/）

VAIOサポートページで質問を受け付け、電子メールで回答を差し上げるサービスです（VAIOの使いかたなど技術的な質問に限ります）。

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。

VAIOご購入日から1年間は、無料でご利用いただけます。2年目以降のお客様には、「VAIOサポートチケット（有料）」をご購入いただくことで、本サービスをご利用いただけます。

「VAIOサポートチケット」について詳しくは、「電話で問い合わせる」の「VAIOサポートチケット」（114ページ）をご確認ください。

※なお、当面の間、VAIOご購入日から2年目以降のお客様にも本サービスを無料でご利用いただけます。無料でご利用可能な期間の終了につきましては、後日、VAIOサポートページなどでお知らせいたします。

！ご注意

- 本サービスをご利用の際、該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。
- VAIOご購入日とは、VAIO本体に付属の保証書に記載されている「お買上げ日」となります。VAIOカスタマー登録の際にご入力ください。
- サポート対象製品は、VAIO本体、VAIO本体に付属のOSおよびソニー製ソフトウェア、一部のVAIOアクセサリーです。

❏ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「メールで問い合わせる」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（109ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、VAIOに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。

なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス
FAX番号：(0466)30-3040

！ご注意

一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。詳しくは、「VAIO内の情報を調べる」（108ページ）、「VAIOサポートページで調べる」（109ページ）をご覧ください。
- VAIO Updateを利用して、お使いのVAIOが最新の状態かご確認ください。VAIOをアップデート（最新状態に）することにより、お客様のお困りの症状を解決できることがあります。VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「VAIO Updateを利用する」をご覧ください。

ヒント
VAIOサポートページの「故障とお考えの前に」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html）でも、故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/download/karte/）またはFAX情報サービス（119ページ）より入手できます。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

SONY

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
修理添付用VAIOカルテのおもて面（お客様情報とお支払方法について）と裏面（症状と製品の情報について）の両面にご記入いただき、ソニー指定業者が修理品をお預かりにお伺いした際に、修理品と一緒にお預けください。
2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理添付用VAIOカルテの裏面（症状と製品の情報について）のみご記入いただき、店頭で修理品と一緒にお預けください。

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理相談窓口　電話番号 0120-60-5599（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからご利用の場合は、0466-30-3030（通話料はお客様負担となります）
※法人のお客様は、法人向け修理相談窓口 0120-30-6065（0466-30-3035）へお問い合わせください

お電話いただく前にお読みください

1. お客様のバイオをお手元にご用意ください。ご指摘症状によっては、ご案内した操作をしていただく事で改善され、お預けいただかなくても問題が解決する場合があります。
2. 販売店様独自の延長保証にご加入されている場合は、延長保証適用について、販売店様へ事前にご確認ください。
3. お客様ご自身によるトラブルシュート「故障かな？と思ったら」が、下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/index.html
4. 修理窓口へお電話いただくにあたり、6頁の「お客様の個人情報のお取扱いについて」にご了承いただき、お問い合わせください。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
5. お電話いただいた際の受付フローは、おおむね以下の通りです。
（1）担当にお繋ぎするために、音声ガイドでご案内を行っています。
（2）カスタマー登録されている方は、16桁のサポート番号または13桁のバイオカスタマーIDの入力が必要になります。これらの番号をあらかじめお手元にご用意ください。
（3）初めの案内で、これから修理のご依頼をされる方は1、すでに修理をご依頼されている方は2を、お手持ちの電話機から入力していただくことになります。以降は音声ガイドの案内に従って、操作をお願いいたします。
6. 修理品をお預りのお客様へ
WEBから修理お預かり品の状況検索が可能です。下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcle-service.vaio.sony.co.jp/status
携帯電話からは、下記URLで修理中の各種情報や問合せへの回答が可能になりました。
https://vcle-service.vaio.sony.co.jp/
（QRコードはこちら⇒）

詳細につきましては、ご購入商品に同梱されている『サービス・サポートのご案内』をご参照ください。

VAIO はソニー株式会社の商標です。

VAIO
3-297-641-03

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機はご用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様に返却しておりませんので、あらかじめご了承ください。

ヒント

VAIOサポートページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップ」(76ページ)をご覧ください。

！ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 修理料金の目安(VAIOサポートページ)

製品別、症状や故障個所別に、修理料金の目安を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/price.html

❑ VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況(修理ご相談)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/

修理相談窓口の混雑状況をVAIOサポートページで公開しています。お電話の前にご確認ください。

❑ その他

不具合症状などの確認のために操作をお願いする場合があります。ご使用のVAIOをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

❑ 海外での修理について

お買い求めいただいたVAIOは、VAIO International Repair Service(VAIO国際修理サービス)の対象機種です。

VAIOのご購入日から1年間は、海外の本サービス対象国および地域においても、保証規定にのっとり、無償で修理を行います。サービス内容やご利用方法など詳しくは、本機に付属の冊子「VAIO International Repair Service(VAIO国際修理サービス)のご案内」をご覧ください。

修理を申し込む

「VAIOカスタマーリンク修理相談窓口」

電話番号：(0120) 60-5599(フリーダイヤル)

(ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は (0466) 30-3030(通話料お客様負担)

受付時間：平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。(一部機種・地域を除く。2009年10月現在)

法人向け修理相談窓口のご案内

「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」(法人のお客様専用)

電話番号：(0120) 30-6065(フリーダイヤル)

(サンゼロ　ロクゼロロクゴー)

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は(0466) 30-3035(通話料お客様負担)

受付時間：平日：10時～ 18時(土日祝日休み)

① 修理窓口に電話をかける

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。
  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時(④は平日のみ)

!ご注意

- 上記は2009年10月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業、修理後のお届けは、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理/お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」(123ページ)をご覧ください。

お届け/お支払い(有料の場合のみ)

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い(有料のみ)

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望されたかたは、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理/お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOサポートページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOサポートページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOサポートページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/index_2.html

❑ かんたんアクセス（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

① VAIOサポートページのトップページ（最初の画面）を表示し、「修理のご相談」のリンクをクリックする。

② 表示された画面で「お預かり後の確認」のリンクをクリックする。

ヒント

VAIOサポートページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOサポートページ」（109ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートページ）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

！ご注意

- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。
  なお、修理内容に応じて弊社が必要と判断した場合には、お電話にてご連絡させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- メール受信制限を設定している場合は、@sony.co.jp および @jp.sony.comからのメールが受信できるように設定してください。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルの「修理お預かり情報」にアクセスする。

- URLからアクセス
  https://vcl.e-service.vaio.sony.co.jp/
- QRコードからアクセス
  （バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

② 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力する。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（120ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/
ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

！ご注意
2009年10月現在の情報になります。

（2009年10月現在）

❑ My VAIO Pass（無償）

VAIOカスタマー登録（39ページ）をしていただいたお客様に無料で提供する優待プログラムです。お得な優待キャンペーンや、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。
なお、My VAIO Passの有効期限はMy VAIOでログインするたびに1年間延長されます。

優待メニューの一例

- VAIOアクセサリーのご購入で、5%分のソニーポイントをプレゼント

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

ワンランク上の優待プログラム「My VAIO Passプレミアム」なら、ソニーポイントのプレゼント率がさらにアップ。
また、プレミアムメンバー限定の無料コンテンツや優待販売、プレゼントキャンペーンなども随時ご提供します。

優待メニューの一例

- VAIOアクセサリーのご購入で、10%分のソニーポイントをプレゼント

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループ共通のポイントプログラムです。貯めたポイントは、ソニーグループの多彩な商品やサービスの購入などにご利用いただけます。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはVAIOオーナー向けサイトMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意

2009年10月現在の情報になります。

❑ VAIO設置設定サービス

http://sony.jp/vaio/setting/
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

ソニーデジホームサポートデスク
電話番号
（0570）073-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4569（PHS・IP電話）
受付時間
月～金：10：00 ～ 18：00
土日祝：10：00 ～ 17：00
（※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

❑ セミナー・個人レッスン

http://sony.jp/vaio/lesson/

セミナー

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

ITエンターテインメントセミナー事務局
電話番号
（0570）075-111（一般及び携帯電話）
（0466）38-4568（PHS・IP電話）
受付時間
月～金：10：00 ～ 18：00
土日祝：10：00 ～ 17：00
（※但し、弊社指定のメンテナンス日を除く）

個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。
お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧いただくか、ソニーデジホームサポートデスクまでお問い合わせください。ソニーデジホームサポートについて詳しくは、「VAIO設置設定サービス」（127ページ）をご覧ください。

❑ 部品提供サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/parts/
VAIOをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション（SS）でのご注文（SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。）
- ホームページより部品をご注文（対象機種のみ）
  （部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込））

！ご注意

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://sony.jp/vaio/customize/
VAIO本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリーやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❏ アップデートディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/updatedisc/

ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートディスクを有料で送付するサービスです。

！ご注意

- ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。
- 本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❏ リカバリーディスク送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

VAIOを再セットアップするときに必要なディスクを有料で送付するサービスです。

ご提供するリカバリーディスクは、VAIOにプリインストールされている「リカバリー作成ツール」からお客様ご自身で作成することができるディスクと同等のものです。

！ご注意

本サービスのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要です。該当のVAIOが登録されているMy Sony IDを使ってログインしていただきます。

❏ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/onsite/

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお応えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型VAIOのみ）

ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行います。

技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。

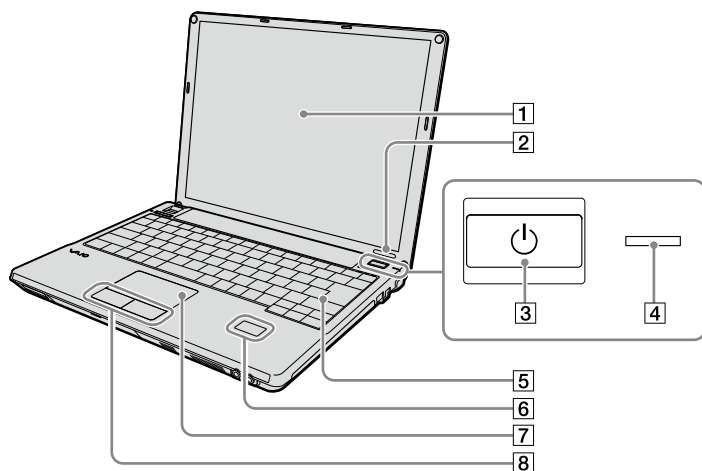
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にVAIOサポートページをご確認ください。

❏ 点検サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/inspection/

ご所有のVAIOをソニーでお預かりし、製品の出荷時に行う各種機能検査と同等の検査や、内部クリーニングを施してご返却する、有償のサービスです。

各部の説明

本体正面

1 **液晶ディスプレイ（97、138ページ）**

2 **IDラベル**
型名が記載されています。

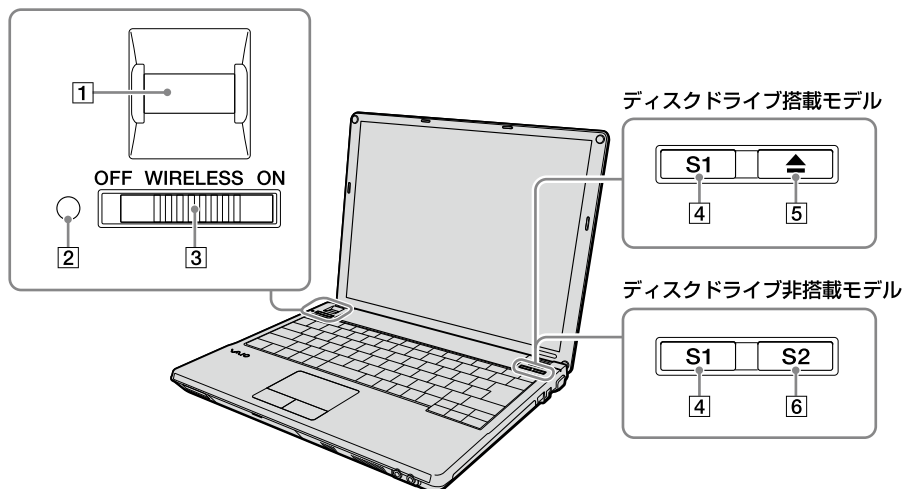
3 **⏻（パワー）ボタン**

4 **⏻（パワー）ランプ（30ページ）**
電源が入ると点灯（グリーン）します。スリープモード時には点滅（オレンジ）します。

5 **キーボード（99、137ページ）**

6 **FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）（107ページ）**
（FeliCa機能搭載モデルのみ）
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。
FeliCaについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「FeliCa」をご覧ください。

7 **タッチパッド（101ページ）**
マウスの代わりに画面上のポインターを動かします。

8 **左／右ボタン**
マウスの左／右ボタンに相当します。

1 **指紋センサー(68ページ)**
(指紋センサー搭載モデルのみ)
指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。

2 **照度センサー**
自動輝度設定が有効の場合は、周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを自動的に調整します。

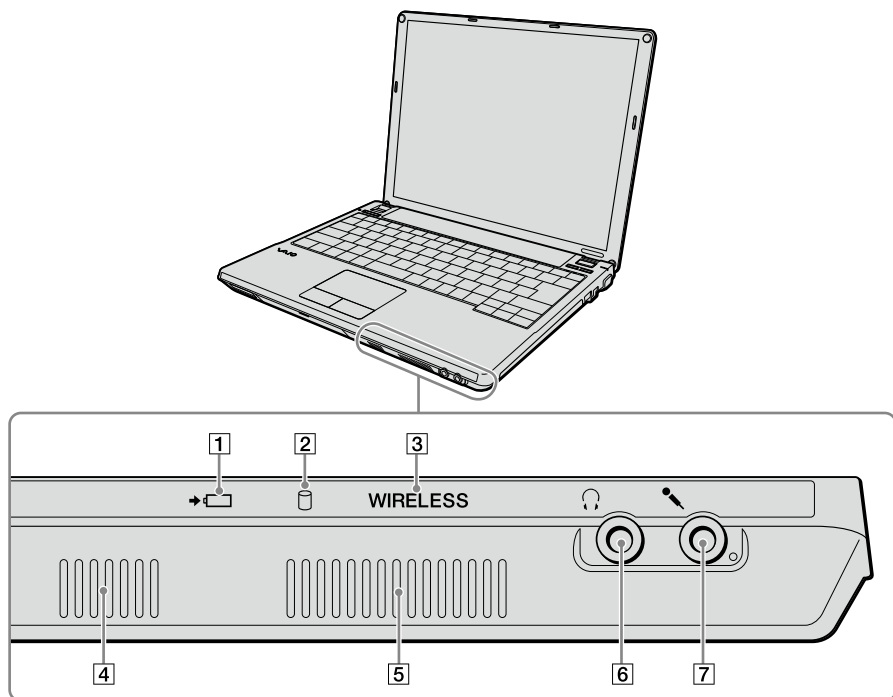
ヒント
本機のセットアップやリカバリー時には自動輝度設定が動作しない場合があるため、周囲の明るさに関係なく、ディスプレイの輝度が明るくなったり、暗くなったりすることがあります。

3 **WIRELESSスイッチ**
(無線LAN機能/ Bluetooth(R)機能搭載モデルのみ)
ワイヤレス機能(無線LAN機能/Bluetooth機能)の電源をオン/オフします。

ヒント
ワイヤレス機能を使用する場合は、WIRELESSスイッチを「ON」にし、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスを有効にする必要があります。

4 **S1ボタン**
押すだけで、あらかじめ割り当てられている機能を手軽に操作することができるショートカットボタンです。
割り当てられている機能は、お好みで変更することもできます。

5 **⏏(イジェクト)ボタン**
(ディスクドライブ搭載モデルのみ)
ディスクトレイを取り出します。

6 **S2ボタン**
(ディスクドライブ非搭載モデルのみ)
押すだけで、あらかじめ割り当てられている機能を手軽に操作することができるショートカットボタンです。
割り当てられている機能は、お好みで変更することもできます。

1 ➔▭（充電）ランプ
バッテリーの充電状態をお知らせします。

2 ⌷（ディスク）アクセスランプ
CD／DVDやハードディスクまたはSSDにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

3 WIRELESSランプ
（無線LAN機能／Bluetooth（R）機能搭載モデルのみ）
ワイヤレス機能（無線LAN機能／Bluetooth機能）が使える状態のときに点灯します。

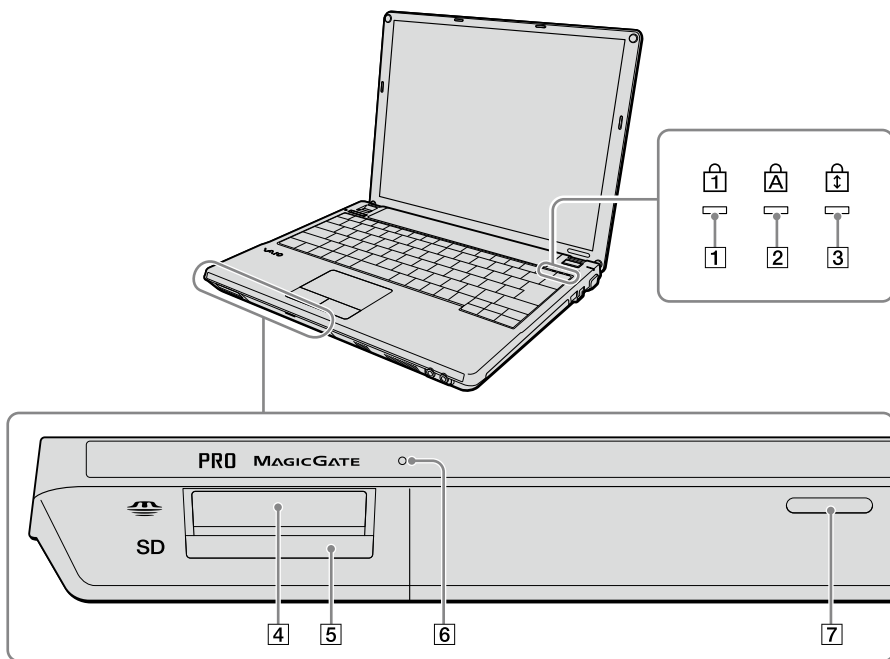
ヒント

複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、ひとつ以上のワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。
なお、WIRELESSスイッチが「ON」になっていても、「VAIO Smart Network」ソフトウェアでワイヤレス機能のデバイスが有効になっていない場合、WIRELESSランプは点灯しません。

4 内蔵スピーカー

5 吸気口

6 ∩（ヘッドホン）端子
スピーカーやヘッドホンなどをつなぎます。

7 🎤（マイク）端子
マイクをつなぎます。（ステレオ対応）
ヘッドホン端子と区別がしやすいように、マイク端子の右下に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホン端子に接続しないようにご注意ください。

1 (Num Lock)ランプ(137ページ)
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

2 (Caps Lock)ランプ(137ページ)
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

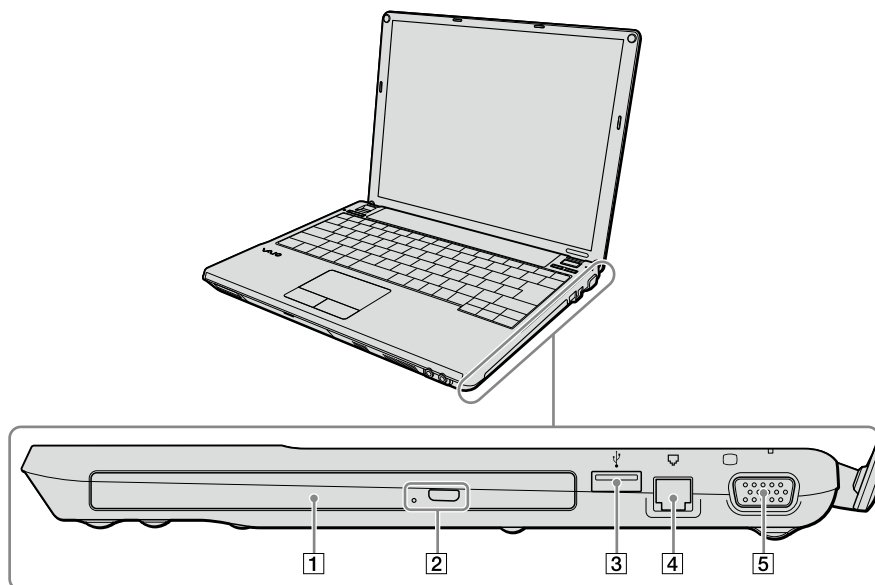
3 (Scroll Lock)ランプ(137ページ)
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

4 **"メモリースティック"スロット**
"メモリースティック"を挿入します。
"メモリースティック デュオ"もそのままお使いになれます。

5 **SDメモリーカードスロット**
SDメモリーカードを挿入します。

6 **メモリーカードアクセスランプ**
"メモリースティック"やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

7 **水抜き穴(145ページ)**

本体右側面

1 **DVDスーパーマルチドライブ**
（ディスクドライブ搭載モデルのみ）
以降、ドライブと略すことがあります。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「ディスクを入れる／取り出す」をご覧ください。

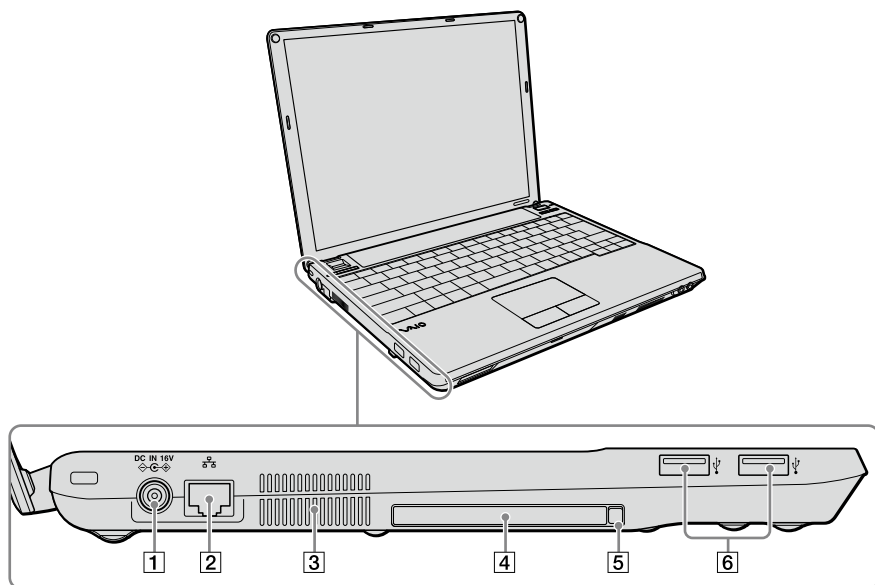
2 **ドライブ イジェクトボタン／マニュアル イジェクト穴**
（ディスクドライブ搭載モデルのみ）
マニュアルイジェクト穴は、ドライブに挿入されたディスクを強制的に排出させるときに使用します。針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を穴に押し込んでください。

!ご注意
これらの位置は、実際と異なる場合があります。

3 **(USB)端子**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

4 **(モジュラージャック)（27ページ）**
電話回線をつなぎます。

5 **(モニター)端子**
外部ディスプレイやプロジェクターをつなぎます。

本体左側面

1 **DC IN 16V ⊖⊂⊕ 端子**
電源コンセントにつないでからACアダプターをつなぎます。

2 **LAN端子（26ページ）**
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

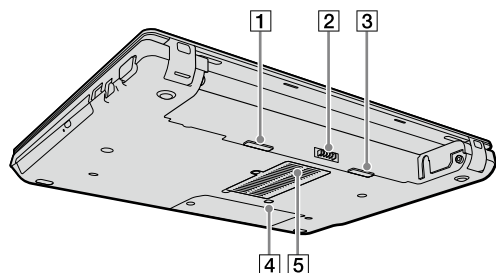
3 **排気口**

4 **PCカードスロット**
PCカードを取り付けます。

ヒント
- お買い上げ時は、PCカードスロット用ダミーカードが装着されています。PCカードが入っていないときは、スロットを保護するために必ずダミーカードを挿入してください。
- ダミーカードを取り出すには、PCカードイジェクトボタンを押してボタンを出し、もう一度イジェクトボタンを押します。ダミーカードの端を持ってスロットから引き抜いてください。

5 **PCカードイジェクトボタン**
PCカードを取り出します。

6 **ψ（USB）端子**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

本体底面

1 RELEASE（リリース）レバー
バッテリーを取りはずします。

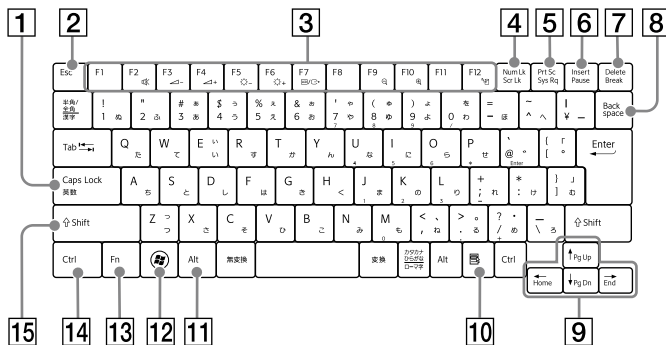
2 バッテリー端子

3 ロックレバー（24ページ）
バッテリーをロックします。

4 水抜き穴（145ページ）

5 吸気口

キーボードの各部名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 **Caps Lock（キャプスロック）キー**

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にある 🄰（Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

2 **Esc（エスケープ）キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

4 **Scr Lk（スクロールロック）キー／ Num Lk（ナムロック）キー**

■Num Lkキーとして使用する
テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある 🔒（Num Lock）ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。
■Scr Lkキーとして使用する
使用するソフトウェアによって働きが異なります。
Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの右上にある 🔒（Scroll Lock）ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、消灯します。

5 **Prt Sc（プリントスクリーン）キー**

デスクトップ画面全体を画像として本機にクリップボードに取り込みます。

6 **Insert（インサート）キー**

文字を挿入するか、上書きするか切り替えます。

7 **Delete（デリート）キー**

カーソルの右側の文字を消します。

8 **Backspace（バックスペース）キー**

カーソルの左側の文字を消します。

9 **矢印キー**

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 **アプリケーションキー**

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

11 **Alt（オルト）キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

12 **Windows（ウィンドウズ）キー**

Windowsのスタートメニューが表示されます。

13 **Fn（エフエヌ）キー**

Fnキーの文字色と同じ色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

14 **Ctrl（コントロール）キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

15 **Shift（シフト）キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。
- ディスプレイパネルを開いた状態で本機を持ち歩く場合は、ディスプレイパネルが動きやすくなっていますのでご注意ください。

使用に適さない場所について

次のような場所で本機を使用すると故障の原因となることがあります。

- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所。
- 振動する場所や不安定な場所。
- ほこり、湿気の多い場所。
- 風通しが悪い場所。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です）。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。

- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクまたはSSDの取り扱いについて

本機には、ハードディスクまたはSSD(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクまたはSSDが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

ハードディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

SSD搭載モデルをお使いの場合

- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- お買上げ時に搭載されているSSDは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクまたはSSDに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクまたはSSDのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ワイヤレス機能の取り扱いについて（無線LAN機能／ Bluetooth（R）機能搭載モデル）

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi （ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- 無線LANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧下さい。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHz無線LAN機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯の無線LAN機能と5 GHz帯の無線LAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11n（2.4 GHz）は、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- IEEE 802.11b ／ IEEE 802.11gをお使いの場合のみ、アドホックモード接続を行うことができます。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ACアダプターについてのご注意

- AC電源をつなぎない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属またはソニーが指定する別売りのACアダプターをご使用ください。
- ウォールマウントプラグアダプターは、ACアダプターとコンセントにしっかり差し込んでください。（ウォールマウントプラグアダプター付属モデル）
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプターは本機専用です。本機以外では使用しないでください。（ウォールマウントプラグアダプター付属モデル）
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリーについてのご注意

バッテリーについて

- 付属のバッテリーは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属またはソニーが指定する別売りのバッテリーをご使用ください。
- 高温時、低温時は、安全のために充電を停止することがあります。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつなぎない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリーをお使いになるときは

付属のバッテリーは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリーの放電について

バッテリーは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリー駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリーの駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使用状況および設定等により変動します。

バッテリーの性能低下と交換について

バッテリーは消耗品です。充電回数や使用期間などにより少しずつ充電能力が低下していきます。このため、十分に充電を行っていてもバッテリーの駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなったりすることがあります。
バッテリーの駆動時間が短くなってきた場合には、バッテリーの状態を確認し、ソニー指定の新しいバッテリーと交換をしてください。
バッテリーの残量や寿命の確認方法については、「VAIO 電子マニュアル」の「バッテリーの充電／表示の見かた」をご覧ください。
また、バッテリーは上手に使うことによって駆動時間を長くしたり、充電能力の低下を遅らせ、バッテリーをより長持ちさせたりすることができます。
なお、バッテリーの交換に関しご不明な点などございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリーが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたはSSDに保存しますので、バッテリーが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプターを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリーの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずすときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

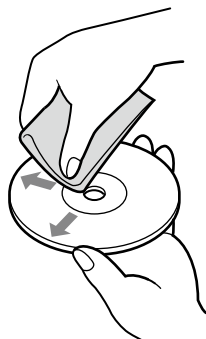
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプターとバッテリーを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピューターを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

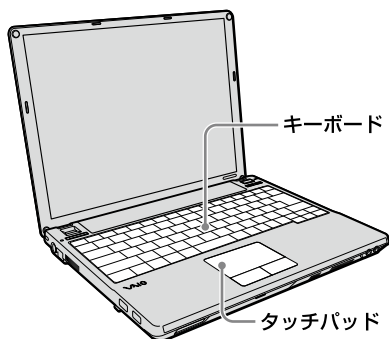
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や自作のリカバリーディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたはSSD内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。
従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスクまたはSSD上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたはSSD上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクまたはSSDのデータを完全に消去する
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「ハードディスク／ SSDのデータを完全に消去する」をご覧ください。
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクまたはSSDを破壊する
  ハードディスクまたはSSD上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

防滴構造について

本機は、キーボード上に水などをこぼしてもコンピューター内部への浸水を抑える構造をキーボードとタッチパッドに採用しています。これは、キーボードにかかった水滴を本体底面と正面にある水抜き穴から排水することにより、本機内部に水滴がたまることを抑えるものであり、内部部品やハードディスクまたはSSDの故障・破損、データの破壊・消失などの防止を保証するものではありません。
キーボードとタッチパッド以外は防滴構造ではありません。また、防滴構造は、浸水を完全に防ぐものではありません。

キーボードに水をこぼしたときは

万一、水などの液体をキーボード上にこぼしてしまったときは、こぼした水が少量の場合でも、必ず次のように処置してください。こぼしたまま放置すると、故障の原因になります。

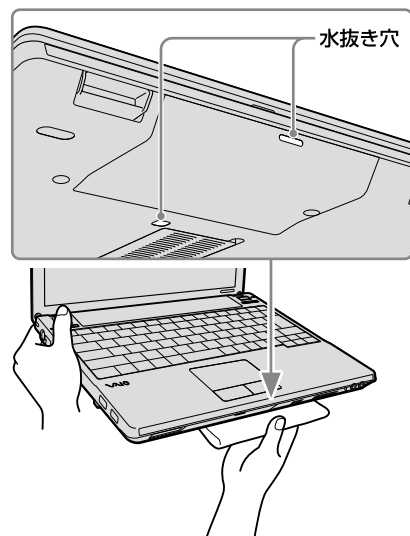
1　すぐに電源を切り、ACアダプターを抜く。

2　キーボード上の水滴を、乾いた柔らかい布で拭く。

3　ゆっくりと前方に傾けながら本機の後部を持ち上げて水を出す。

後方に傾けると、内部に浸水して故障の原因になります。

4　そのまま水抜き穴から出た水を乾いた柔らかい布で拭く。

底面や水抜き穴周辺に水滴が残らないように、しっかり拭き取ります。

5　本機を乾いた場所に移動させる。

水が残っている場所に置いたままにしていると、底面から水が浸水する可能性があります。

6　水滴を拭き取った後、バッテリーを取りはずし、VAIOカスタマーリンクに点検を依頼する。

液体をこぼしたときは、必ず点検を依頼してください。
また、水などの液体をこぼしたことによる修理は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

使用できるディスクとご注意（ディスクドライブ搭載モデル）

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

－：再生、記録不可

ディスクの種類	DVDスーパーマルチドライブ
CD-ROM	○
Video CD	○
Music CD	○
CD Extra	○
CD-R/RW	◎ *3
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD-R/RW	◎
DVD+R/RW	◎
DVD+R DL（Double Layer）	◎
DVD-R DL（Dual Layer）	◎
DVD-RAM *1 *2	◎

*1　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*2　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

*3　Ultra Speed CD-RWのディスクは書き込みできません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ +RW ／ DVD-R ／ -RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。

- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生・録音を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはCD規格に準拠していないことから、本製品ではご使用いただけない場合があります。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピューターのCPUやハードディスクまたはSSDに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティーや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティーなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドの操作をすると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピューターやネットワークにアクセスしないでください。
- ACアダプターまたは電源コードの取り付け／取りはずしを行わないでください。

索引

* 別紙「主な仕様」をご覧ください。

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

【F】

【I】

【L】

【M】

【N】

【P】

【R】

【S】

【T】

【U】

【V】

【W】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ICOCAは、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PiTaPaは、株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- nimocaは、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- Kitacaは、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- SUGOCAは、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「iモード」、「おサイフケータイ」および「トルカ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Office ロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは109ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOの各種サービスをご覧いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ
VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

（0120）60-3399（ロクゼロ サンサンキュウキュウ）
（フリーダイヤル）

※ VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**
- **お電話の前に本機の型名をご確認ください。**
  （保証書または本機IDラベルに記載されています。本機IDラベルについては、本機の液晶ディスプレイ右下をご覧ください。）

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」（114ページ）をご覧ください。

有料サービス

My VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ セミナー・個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO（http://sony.jp/vaio/myvaio/）をご覧ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号（0120）60-3399

※フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
※VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、
「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
※お電話の前に本機の型名をご確認ください。

詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-177-191-**01** (1)